

# 健 康 課

## ○ 健康文化都市推進事業

生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康づくり指針(伊勢市健康増進計画)に基づき健康づくり条例を制定し、健康文化週間・健康の日に様々な啓発事業を実施した。また、肥満予防を目的に「低カロリー・バランス食」の啓発や健康づくりアドバイザー養成講座等を実施した。また、地域でのウォーキング活動の推進を図るため皇學館大学へ委託し、自治会とウォーキング講座を実施した。(事業費 1,329,410円)

区 分	実施場所	回 数	延 べ 人 数
健康文化週間啓発事業	中央保健センター 小俣保健センター 他	7回	685人
健康の日啓発事業	中央保健センター ハートプラザみその 他	11	1,788
ウォーキング講座	大湊町、御菌町	3	292
健康づくりアドバイザー養成講座	中央保健センター	6	213
健康づくり教室	中央保健センター 他	19	1,002
計		46	3,980

生活習慣病予防のための運動や健康づくりを目的に自主的に活動し実践しているグループに対して、健康づくり広場の提供や市民の活動の支援に努めた。

区 分	対象者	回 数	参加者数
運動教室OB会	運動教室修了者	181回	6,180人
健康づくりアドバイザー	健康づくりアドバイザー養成講座修了者	10	160

## ○ 救急医療関係

一次救急医療事業委託

休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう「救急を考える集い」を開催した。

また、市民が参加するイベントなどにおいて、突然の心停止時に早期に対応できるよう、救命措置に必要なAED(自動体外式除細動器)の貸出を行った。8歳以下の小児にも対応できるよう、小児パッドの追加を行った。(事業費 4,338,060円)

救急を考える集い	実施日	実施場所	内 容	参加者数
	8月31日	観光文化会館	「救急車の正しい利用法」「救急の現場から」講演会、パネル展示他	530人

A E D貸出	件数（台数）	延べ日数	貸 出 行 事
	9 件（12 台）	70 日	おおまつり、体育祭、花火大会、運動会他

### ○ 食生活改善推進事業

健康づくりの推進の基本となる日常の食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成及び推進員を中心とした地域住民の自主的な活動に対する支援を行った。

（事業費 799,264 円）

区 分	対 象 者	回 数	参 加 者 数
食から出発健康セミナー	市 民	8 回	98 人
ヘルスメイト料理講習会・伝達講習会	〃	117	2,766
保健事業への協力	〃	51	212

### ○ 予防接種事業

予防接種法に基づき、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、市内及び県内の医療機関において各種予防接種を実施した。

また、BCGにおいては、期間内に医学的な事由により接種できなかった者に対し、12 か月に至るまでの間に接種した場合に限り費用の一部を助成した。（事業費 184,217,930 円）

予防接種区分	対 象 年 齢	時 期	人 数	金 額
D T 二種混合	(2 期) 11 歳～13 歳未満	通 年	885 人	4,423,230 円
D P T 三種混合	生後 3 か月～90 か月未満	〃	4,564	33,257,868
日本脳炎	(1 期) 3 歳～90 か月未満	〃	3,438	19,892,268
	(2 期) 9 歳～13 歳未満	〃	415	2,087,450
ポリオ	生後 3 か月～90 か月未満	〃	1,995	13,502,160
麻しん風しん (MR. M. R)	(1 期) 1 歳～2 歳未満	〃	1,045	12,596,787
	(2 期) 5 歳～7 歳未満で小学校就学前 1 年間	〃	1,099	11,747,211
	(3 期) 中学 1 年生相当	〃	1,144	11,360,286
	(4 期) 高校 3 年生相当	〃	1,166	11,568,543
B C G	生後直後～6 か月未満	〃	1,031	9,180,024
インフルエンザ	65 歳以上及び一定の疾患を持つ 60～64 歳	10～1 月	19,342	48,607,000
B C G 助成 (任意接種・ 扶助費)	生後 6 か月～12 か月未満	通 年	2	13,629
計			36,126	178,236,456

### ○ 健康増進事業関係

健康増進法に基づき、壮年期死亡の減少と介護予防の推進のため、生活習慣病予防を中心に次の諸事業を実施した。

1 健康相談事業（事業費 628,094 円）

区 分	実施場所等	回 数	延べ人数	備 考
総合成人健康相談	中央保健センター	12 回	71 人	
	市内各地域	72	654	小俣保健センター、ハートプラザみその、公民館等
	各種教室	1	46	市民館
重点健康相談	栄養相談	48	54	中央保健センター、二見老人福祉センター等
計		133	825	

2 健康診査事業（事業費 3,500,699 円）

区 分	実 施 機 関 等		計	金 額		
	集 団	医 療 機 関				
健康増進法健康診査	—	127 人	127 人	1,297,874 円		
骨粗しょう症 検 診	腰椎 D E X A	—	104	2,187,310		
	腰 椎 以 外	—	1,470			
胃がん検診	透 視	—	1,041	115,129,600		
	内 視 鏡	—	8,421			
子宮がん検診	頸 部	482 人	3,768	4,250	21,001,500	
肺がん検診	X 線	876	6,660	7,536	11,441,650	
	X 線 + 喀 痰	34	380	414		
大 腸 が ん 検 診	—	—	12,235	12,235	12,151,700	
乳 が ん 検 診	—	—	1,583	2,362	3,945	15,120,980
前立腺がんマーカー検査	—	—	—	1,616	1,616	3,710,840
計	2,975	38,184	41,159		182,041,454	

3 歯周疾患検診事業

歯の喪失を予防するため、40～50 歳、55 歳、60 歳、65 歳、70 歳の市民を対象に、歯周疾患検診を実施した。（事業費 5,861,393 円）

区 分	実施時期	実 施 機 関	延べ人数
歯周疾患検診	6～10 月	市内及び度会郡内の実施 歯科医院	2,029 人
高齢者口腔総合健康診査	通年	〃	136
計			2,165

4 訪問指導事業 (事業費 527,253 円)

区 分	訪 問 指 導 人 数	
	実 人 数	延 べ 人 数
健康診査の要指導者等	58 人	60 人
がん要精検未受診者	359	366
閉じこもり予防	22	32
介護家族者	5	8
寝たきり者	2	3
認知症	13	18
精神疾患・その他	18	72
計	477	559

5 機能訓練事業 (事業費 109,150 円)

区 分	実 施 場 所	回 数	延 べ 人 数
リハビリ教室	中央保健センター	9 回	32 人

○ 特定保健指導関係

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき実施した。

40 歳から 74 歳の伊勢市国民健康保険加入者を対象に行う、メタボリックシンドロームに着目した健康診査の結果、特定保健指導の対象者となった者に対し、「動機付け支援」と「積極的支援」の保健指導を行った。

区 分		実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
動機付け 支 援	来 所	中央保健センター 二見老人福祉センター 小俣保健センター ハートプラザみその	31 回	181 人	保健師、看護師による生活改善指導 初回支援の 6 か月後評価
	家庭訪問	各 家 庭	59	300	
積極的支援	来 所 電 話	中央保健センター	75	159	医師講演・保健師、栄養士による生活改善指導 3 か月以上継続的に支援し、初回支援の 6 か月後評価
	家庭訪問	各 家 庭	3	5	
計			168	645	

○ 介護予防関係

介護保険法に基づき、高齢者の健康づくりと介護予防の推進のため、次の諸事業を実施した。

1 一般高齢者施策事業

65 歳以上の全ての高齢者を対象に、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組みが主体的に実施されるよう、介護予防に関する知識の普及・啓発を行ったり、地域における自発的な介護予防に資する活動の育成や支援を行った。

(1) 介護予防普及啓発事業（事業費 2,102,976 円）

区 分	実施場所	回 数	延 べ 人 数	備 考
介 護 予 防 講 座	中央保健センター	19 回	239 人	
す こ や か 教 室	市 内 各 地 域	44	1,166	老人クラブ対象
脳活性化教室（2 日間）	中央保健センター	4	66	
通所型介護予防事業	中央保健センター	46	355	転倒骨折予防教室 183 人 脳活性化教室 126 人 口腔訓練教室 45 人 介護予防教室 1 人
在 介 に よ る 転倒骨折予防教室	市 内 各 地 域	73	1,075	市内 9 在宅介護支援セン ターに委託
訪 問 指 導	各 家 庭	42	63	介護予防のための生活改 善指導等
地域や団体からの要 請による介護予防等	中央保健センター 市 内 各 地 域	17	600	
計		245	3,564	

(2) 地域介護予防活動支援事業（事業費 70,022 円）

区 分	対象者	回 数	延 べ 人 数	サークル数
いきいきクラブ	教室終了者等	16 回	550 人	
脳活性化 O B 会	教室修了者	107	1,435	7（センター5、老人クラブ 2）
転倒骨折予防教室 O B 会	教室修了者	129	1,669	5（センター3、老人クラブ 3）
お達者クラブ O B 会	教室修了者	12	93	
計		264	3,747	

2 特定高齢者施策事業

生活機能が低下し要介護状態等となるおそれのある 65 歳以上の者（特定高齢者）を早期に発見し、要介護状態等を予防し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援を行った。

(1) 特定高齢者把握事業

要介護状態等となるおそれのある 65 歳以上の者（特定高齢者）を早期に発見するため、生活機能評価を行った。（事業費 69,784,737 円）

実施時期	実施機関	受診者数	特定高齢者決定者数
8～3 月	三重県内の医療機関	12,336 人	539 人

(2) 通所型介護予防事業（事業費 1,751,804 円）

区 分	場 所	回 数	延べ人数
転倒骨折予防教室	中央保健センター	71 回	152 人
脳活性化教室	〃	51	94

栄養改善教室	中央保健センター	2回	2人
口腔訓練教室	〃	25	29
介護予防教室	各総合支所	4	8
計		153	285

(3) 訪問型介護予防事業 (事業費 26,652 円)

区 分	訪問指導人員	
	実人数	延べ人数
特定高齢者	7人	19人
家族	6	14
計	13	33

○ 母子保健関係

母子保健法に基づき、乳幼児の健全育成と虐待予防及び子育て支援を図るため、次の諸事業を実施した。

1 健康教育事業

(1) 子育て支援教室事業 (事業費 470,345 円)

区 分	対象者	実施場所	回数	延べ人数	備 考
パパとママの教室	妊婦及びその夫	中央保健センター	4回	234人	妊娠中・出産後の健康管理及び沐浴実習、妊婦模擬体験、絵本の読み聞かせ体験
離乳食教室	乳児を持つ保護者	中央保健センター 二見老人福祉センター 小俣保健センター ハートプラザみその	12	366	離乳食の講話 試食
要請による育児教室等	保護者	子育て支援センター 他	25	562	子育て支援センター 育児講座 他
育児サークル	子育て中の保護者	中央保健センター (2サークル) 二見老人福祉センター 地域コミュニティセンター (2サークル)	63	1,036	子どもの遊び場・親の話せる場の提供、自主活動の支援
計			104	2,198	

(2) 発達支援教室事業 (事業費 1,747,535 円)

区 分	対象者	実施場所	回数	延べ人数	備 考
発達支援教室	幼児と保護者	小俣保健センター	24回	448人	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査後のフォロー
親子教室アイアイ	〃	中央保健センター	12	378	広汎性発達障害児早期発見、早期療育事業
計			36	826	

## (3) 幼児歯科保健事業（事業費 3,386,817円）

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
むし歯バイバイ教室	2歳代の幼児と保護者	中央保健センター 小保保健センター	24回	833人	歯科医師講話、ブラッシング指導、歯科健診、フッ化物塗布 他
3歳児フッ化物塗布教室	3歳代の幼児と保護者	〃	18	660	
歯科保健教室	幼稚園・保育園児と保護者	幼稚園	5	440	歯科医師・歯科衛生士講話、ブラッシング実習
計			47	1,933	

## 2 健康相談事業（事業費 929,573円）

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
妊婦相談	妊 婦	中央保健センター 市内各地域	随時	617人	妊娠中の健康管理
子育て相談	乳幼児 (就学まで)	市内各地域 子育て支援センター	63回	629	発育、発達、育児相談
	乳 幼 児	中央保健センター 二見老人福祉センター 小保保健センター ハートプラザみその	48	2,307	
栄養相談	〃	〃	48	519	栄養の個別相談
電話育児相談	乳幼児を持つ家族	〃	随時	—	育児の悩み等の相談
計				4,072	

## 3 健康診査事業

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回数等	延べ人数	金 額	備 考
妊婦一般健康診査	妊 婦	県内各医療機関	随時	5,539人	円 46,960,375	妊娠中に5回健康診査を実施
乳児一般健康診査	4か月・10か月の乳児	〃	〃	2,074		乳児期に2回健康診査を実施
1歳6か月児健康診査	1歳6か月～1歳8か月児	中央保健センター	36回	1,026	4,378,311	発育発達チェック 小児科・歯科医師の診察 他
3歳児健康診査	3歳6か月～3歳8か月児	〃	36	1,005	7,108,929	発育発達チェック 小児科・耳鼻科・眼科・歯科医師の診察 他
妊婦歯科健康診査	妊 婦	市内及び度会郡内の実施歯科医院	随時	389	1,060,590	平成12年度より実施 妊娠中に1回歯科健康診査を実施
計				10,033	59,508,205	

## 4 訪問指導事業

増加する児童虐待を予防するため、不安の多い新生児期の訪問指導を実施し、育児不安の解消を図るとともに、ハイリスク家庭への支援の充実を図った。（事業費 858,560円）

区 分	対 象 者	人 数	備 考
妊 産 婦 訪 問 指 導	健診の要指導者及び 支援が必要な妊産婦	912 人	妊娠中・出産後の生活指導
赤 ち ゃ ん 訪 問 ( 新 生 児 訪 問 指 導 )	生後 2 か月頃の乳児	917	新生児の育児における生活指導、 育児相談、身体測定等
乳 幼 児 訪 問 指 導	健康診査未受診者 及び要経過観察児	413	家庭の事情に応じた保健指導
計		2,242	

#### 5 母子健康手帳交付事業（事業費 476,574 円）

妊娠届の提出件数	交 付 場 所
1,032 件	中央保健センター、各総合支所、各支所

#### 6 不妊治療費助成事業

不妊治療を行っている夫婦に対し、治療にかかる費用の一部を助成することにより経済的な負担の軽減を図り、少子化対策に寄与した。（事業費 6,185,150 円）

助 成 件 数	申 請 場 所
100 件	中央保健センター、 各総合支所

### ○ 休日・夜間応急診療所運営関係

平日夜間や休日における急病の発生に対処するため、休日・夜間応急診療所を開所し、応急診療を行った。

#### 1 医科診療所運営事業（事業費 69,882,639 円）

区 分 診療科目		開所日数	受 診 者 数			
			市 内	市外(県内)	県 外	計
昼	内 科	70 日	1,749 人	409 人	84 人	2,242 人
	小 児 科		1,736	719	148	2,603
	小 計		3,485	1,128	232	4,845
夜	内 科	365	2,149	552	63	2,764
	小 児 科		1,917	753	114	2,784
	小 計		4,066	1,305	177	5,548
計		435	7,551	2,433	409	10,393

#### 2 歯科診療所運営事業（事業費 6,044,768 円）

開所日数	受 診 者 数			
	市 内	市外(県内)	県 外	計
70 日	233 人	72 人	20 人	325 人



# 医 療 保 険 課

## ○ 国民健康保険関係

### 1 国民健康保険運営協議会

国民健康保険法第 11 条の規定に基づき設置した国民健康保険運営協議会を、次のとおり開催した。

(1) 開催回数 2 回 (8 月 21 日、2 月 19 日)

(2) 内容

8 月 21 日協議事項

- ・平成 19 年度国民健康保険特別会計決算見込について

2 月 19 日協議事項

- ・平成 20 年度国民健康保険特別会計最終補正予算 (案) について
- ・平成 21 年度国民健康保険特別会計当初予算 (案) について
- ・条例改正 (案) について

### 2 国民健康保険加入世帯及び被保険者数 (月平均)

世帯数	被保険者数	一般被保険者		退職被保険者等	
		人数	構成比	人数	構成比
世帯 21,024	人 36,873	人 34,789	% 94.3	人 2,084	% 5.7

### 3 給付状況

種 別	件 数	金 額	摘 要
一般被保険者療養給付費	件 491,369	千円 7,047,817	(1) 診療延べ日数 781,098 日 (2) 費用額 9,620,121,063 円 (3) 一人当たり費用額 276,528 円 (4) 一人当たり保険者負担額 202,115 円 (5) 一人当たり受診回数 14.2 回
退職被保険者等療養給付費	55,691	753,020	(1) 診療延べ日数 81,934 日 (2) 費用額 1,033,458,514 円 (3) 一人当たり費用額 496,139 円 (4) 一人当たり保険者負担額 360,431 円 (5) 一人当たり受診回数 26.8 回
一般被保険者療養費	8,012	65,046	

退職被保険者等療養費	1,089	8,912	
一般被保険者高額療養費	20,154	747,336	
退職被保険者等高額療養費	2,514	86,990	
出産育児一時金	130	46,250	350,000円×105件、380,000円×25件
葬祭費	223	11,150	50,000円×223件
計	579,182	8,766,521	

#### 4 国民健康保険料（税）収納状況

区 分			調 定 額 (円)	収 入 額 (円)	不納欠損額 (円)	還付未済額 (円)	収入未済額 (円)	収納率 (%)	
保 險 料	一 般 被 保 險 者	現 年	医療	2,463,114,322	2,222,944,778	-	518,053	240,687,597	90.2
			後期	587,867,138	532,351,279	-	56,965	55,572,824	90.6
			介護	235,021,431	203,558,855	-	34,651	31,497,227	86.6
		滞 納 繰 越	医療	479,158,444	109,132,785	122,889,921	-	247,135,738	22.8
			介護	64,084,129	14,740,445	16,828,152	-	32,515,532	23.0
		小 計		3,829,245,464	3,082,728,142	139,718,073	609,669	607,408,918	80.5
	退 職 被 保 險 者 等	現 年	医療	208,070,378	202,385,618	-	6,758	5,691,518	97.3
			後期	49,515,562	48,180,505	-	1,614	1,336,671	97.3
			介護	49,192,869	47,890,775	-	1,659	1,303,753	97.4
		滞 納 繰 越	医療	33,439,231	13,337,503	5,193,503	-	14,908,225	39.9
			介護	3,958,080	1,576,255	835,104	-	1,546,721	39.8
		小 計		344,176,120	313,370,656	6,028,607	10,031	24,786,888	91.0
合 計		4,173,421,584	3,396,098,798	145,746,680	619,700	632,195,806	81.4		
保 險 税	一 般 被 保 險 者	現 年	医療	0	0	-	-	-	-
			介護	0	0	-	-	-	-
		滞 納 繰 越	医療	60,000,601	6,623,262	6,604,205	-	46,773,134	11.0
			介護	6,036,422	627,932	611,915	-	4,796,575	10.4
	小 計		66,037,023	7,251,194	7,216,120	-	51,569,709	11.0	
	退 職 被 保 險 者 等	現 年	医療	0	0	-	-	-	-
			介護	0	0	-	-	-	-
		滞 納 繰 越	医療	2,082,289	380,564	51,700	-	1,650,025	18.3
			介護	195,524	56,942	7,900	-	130,682	29.1
		小 計		2,277,813	437,506	59,600	-	1,780,707	19.2

合 計		68,314,836	7,688,700	7,275,720	-	53,350,416	11.3		
保 險 料 ・ 保 險 税	一 般 被 保 險 者	現 年	医 療	2,463,114,322	2,222,944,778	-	518,053	240,687,597	90.2
			後 期	587,867,138	532,351,279	-	56,965	55,572,824	90.6
			介 護	235,021,431	203,558,855	-	34,651	31,497,227	86.6
	滞 納 繰 越	医 療	539,159,045	115,756,047	129,494,126	-	293,908,872	21.5	
		介 護	70,120,551	15,368,377	17,440,067	-	37,312,107	21.9	
	小 計		3,895,282,487	3,089,979,336	146,934,193	609,669	658,978,627	79.3	
	退 職 被 保 險 者 等	現 年	医 療	208,070,378	202,385,618	-	6,758	5,691,518	97.3
			後 期	49,515,562	48,180,505	-	1,614	1,336,671	97.3
			介 護	49,192,869	47,890,775	-	1,659	1,303,753	97.4
		滞 納 繰 越	医 療	35,521,520	13,718,067	5,245,203	-	16,558,250	38.6
介 護			4,153,604	1,633,197	843,004	-	1,677,403	39.3	
小 計		346,453,933	313,808,162	6,088,207	10,031	26,567,595	90.6		
合 計		4,241,736,420	3,403,787,498	153,022,400	619,700	685,546,222	80.2		
保 險 料 ・ 保 險 税 現 年 計 (再 掲)		3,592,781,700	3,257,311,810	-	619,700	336,089,590	90.7		
保 險 料 ・ 保 險 税 滞 納 計 (再 掲)		648,954,720	146,475,688	153,022,400	-	349,456,632	22.6		

## 5 国民健康保険収納区分

区 分	収 納 額	収 納 割 合
口 座 振 替	1,943,517,100 円	59.7%
臨 戸 徴 収 等	620,256,284	19.0
金 融 機 関 等	693,538,426	21.3
計	3,257,311,810	100.0

## 6 国民健康保険料滞納処分（差押）状況

区 分	不 動 産		電 話		債 権		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
3 月 末	件 25	円 8,158,512	件 17	円 4,518,866	件 0	円 0	件 42	円 12,677,378

## 7 国民健康保険財政調整基金

旧年度繰越分 698,415,399 円

本年度中増減高 △123,768,847 円

うち 歳計剰余金積立	25,000,000 円
利子積立	1,231,153 円
取崩し	0 円
本年度末現在高	574,646,552 円

## 8 健康家庭表彰

平成 19 年度中に保険証を使用せず、保険料を完納した 784 世帯に記念品を贈呈した。

## 9 平成 20 年度国民健康保険特別会計の決算見込みについて

歳入合計	13,304,617,613 円
歳出合計	12,930,967,416 円
歳入歳出差引額	373,650,197 円
基金積立金	200,000,000 円

## 10 保健事業

### (1) 特定健康診査

メタボリックシンドローム等の早期発見を図る目的で、本年度から各医療保険者に義務付けられた健康診査を、40～74 歳の国民健康保険被保険者 25,262 人を対象に実施し、11,397 人が受診(受診率 45.1%)した。

### (2) 健康づくり推進事業委託

成人病などの早期発見、早期治療を図るため、健康課実施の「健康診査事業」を受診した国民健康保険被保険者、延べ 17,825 人への負担を行った。

検診内容は、子宮がん検診・胃がん検診・肺がん検診・前立腺がんマーカー検査などを行った。

### (3) 水中運動事業

成人病や介護予防を図るため、35 歳以上の国民健康保険被保険者を対象として、市内スイミングスクールに委託し、水中運動事業を実施した。延べ 535 人の参加があった。

### (4) 医療費通知

医療を受けた被保険者（老人保健医療対象者を除く）に対し、健康の保持・増進についての自覚を促すとともに、医療に対する認識をより深めてもらうため、年 6 回延べ 98,937 通の医療費の通知を行った。

### (5) その他の保健事業

三重県国民健康保険団体連合会が実施する保健事業について、その事業費の一部を負担した。

11 第三者行為（交通事故等）等による診療費の求償状況

一般	49 件	16,791,095 円
退職	10 件	2,224,304 円
計	59 件	19,015,399 円

12 高額療養費資金貸付事業

高額療養費の支給を受けるまでの間、支払に必要な資金を貸付けることにより、当該世帯の生活の安定を図った。

平成 20 年度実績	4 件	791,400 円
------------	-----	-----------

○ 福祉医療費関係

1 障害者医療費の助成

障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、身体障害者手帳 1 級から 4 級または療育手帳 A 1 から B 1 の方の医療費等を次のとおり助成した。

また、平成 20 年 9 月より、通院医療費の助成対象を精神障害者保健福祉手帳 1 級まで拡大した。

(1) 心身障害者医療費支給事業

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成			証 明 書 料 の 助 成		郵 送 料
	資 格 認 定 者	資 格 喪 失 者	3 月 末 有 資 格 者	延 べ 人 数	延 べ 件 数	金 額	延 べ 件 数	金 額	金 額
人 2,119	人 397	人 236	人 2,280	人 19,308	件 48,776	円 228,854,182	件 43,040	円 8,608,000	円 534,790

(2) 65 歳以上心身障害者医療費支給事業

心身障害者医療費の助成対象である、後期高齢者医療被保険者の医療費等を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成		
	資 格 認 定 者	資 格 喪 失 者	3 月 末 有 資 格 者	延 べ 人 数	延 べ 件 数	金 額
人 2,027	人 299	人 354	人 1,972	人 19,648	件 53,300	円 154,997,686

2 乳幼児医療費支給事業

乳幼児等の保健の向上と福祉の増進を図るため、平成 20 年 8 月 31 日までは、満 4 歳未満の入院、通院にかかる医療費等及び 4 歳から小学校入学前までの入院にかかる医療費等を助成、また平成 20 年 9 月 1 日より、小学校入学前までの入院、通院にかかる医療費及び小学生の入院にかかる医療費を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成			証 明 書 料 の 助 成	
	資 格 認 定 者	資 格 喪 失 者	3 月 末 有 資 格 者	延 べ 人 数	延 べ 件 数	金 額	延 べ 件 数	金 額
人 4,064	人 3,519	人 842	人 6,741	人 35,516	件 71,761	円 126,179,155	件 69,449	円 13,889,800

### 3 一人親家庭等医療費支給事業

満 18 歳年度末までの児童を養育する母（父）子家庭の母（父）及びその児童並びに父母のいない満 18 歳年度末までの児童の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費等を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成			証 明 書 料 の 助 成	
	資 格 認 定 者	資 格 喪 失 者	3 月 末 有 資 格 者	延 べ 人 数	延 べ 件 数	金 額	延 べ 件 数	金 額
人 3,043	人 483	人 486	人 3,040	人 14,168	件 26,918	円 64,215,453	件 25,888	円 5,177,600

### 4 寡婦医療費支給事業

寡婦（60 歳から 69 歳までの女子で、配偶者と死別し、かつて 20 歳未満の者を扶養していた者。ただし、現在、婚姻している者を除く。）の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費の一部を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 の 助 成			証 明 書 料 の 助 成	
	資 格 認 定 者	資 格 喪 失 者	3 月 末 有 資 格 者	延 べ 人 数	延 べ 件 数	金 額	延 べ 件 数	金 額
人 19	人 2	人 0	人 21	人 6	件 6	円 23,981	件 6	円 1,200

### 5 地域医療協力費

市民の健康の向上及び地域医療への貢献を考慮し、医師会等に協力費を支払った。

伊勢地区医師会	25,700,000 円
伊勢地区歯科医師会	3,300,000 円
合 計	29,000,000 円

## ○ 老人保健医療関係

老人保健法の改正により、平成 20 年 4 月 1 日より後期高齢者医療制度が施行されている。改正前の平成 20 年 3 月 31 日までの診療分について医療給付を行なった。

1 老人医療費受給者数（平成 20 年 3 月 31 日現在） 16,140 人

2 医療給付の状況（平成 20 年 3 月診療分及び月遅れ請求分）

区 分		種 別	国民健康保険		社 会 保 険		計	
			件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
現 物 費	診 療 費	入 院	899 件	342,500 千円	140 件	55,477 千円	1,039 件	397,977 千円
		入 院 外	19,384	276,884	3,479	51,287	22,863	328,171
		歯 科	1,670	23,366	289	3,656	1,959	27,022
		小 計	21,953	642,750	3,908	110,420	25,861	753,170
給 付		調 剤	9,543	115,543	1,659	19,129	11,202	134,672
		食 事 療 養 費	—	17,727	—	2,561	—	20,288
		訪 問 看 護 療 養 費	26	1,802	3	164	29	1,966
		計	31,522	777,822	5,570	132,274	37,092	910,096
現 金 給 付							16,374	46,040
合 計							53,466	956,136

※現物給付については、再審査による返納分等 40,787 千円を差し引いている。

3 第三者行為（交通事故等）による求償状況

24 件 12,280,376 円

○ 後期高齢者医療制度関係

平成 20 年 4 月 1 日施行の後期高齢者医療制度において、各種届出や申請の受付等の窓口業務、保険料の徴収、制度についての相談への対応、広報等が市の業務とされ、保険者である三重県後期高齢者医療広域連合と連携し制度の運営にあたった。

1 被保険者数の状況

被保険者数	平成 20 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月末	増 減
伊 勢 市	16,153 人	16,691 人	538 人
三重県広域連合全体	209,832	215,506	5,674

2 医療給付等の申請受付件数

区 分	件 数
高額療養費支給申請	1,089 件
療養費支給申請	663
葬祭費支給申請	860

### 3 後期高齢者医療保険料の収納状況

#### (1) 後期高齢者医療保険料収納状況（平成 21 年 5 月末現在）

区 分		調 定 額	収入済額	還付未済額	収入未済額	収納率
現 年 度 分	特別 徴収	645,866,838 円	646,967,752 円	1,100,914 円	0 円	100.0%
	普通 徴収	258,385,636	250,945,664	46,253	7,486,225	97.1
	計	904,252,474	897,913,416	1,147,167	7,486,225	99.2

#### (2) 後期高齢者医療保険料収納区分（平成 21 年 5 月末現在）

区 分	収 納 額	収 納 割 合
口 座 振 替	109,633,396 円	12.0%
金 融 機 関 等	142,581,506	15.6
特 別 徴 収	662,448,826	72.4
計	914,663,728	100.0

※収納額…過誤納還付前の額

## ○ 国民年金関係

### 1 適用事務

市民の年金受給権を確保し、老後の生活の安定を図るため、適用対象者を把握し、届出指導を実施した。

(人)

区 分	年 度 当 初 被 保 険 者 数	年 度 末 被 保 険 者 数	増減数
第 1 号被保険者	19,939	19,516	△423
任意加入被保険者	287	297	10
第 3 号被保険者	10,317	10,007	△310
計	30,543	29,820	△723

### 2 届出書等受理

被保険者並びに受給者に対する各種届出の指導を実施し、関係届書の受理、審査、進達を行った。



(1) 被保険者資格関係届等受理状況

区 分	件 数 (件)
資格取得・喪失・種別変更	2,939
住 所 変 更	3,542
法 定 免 除 ・ 申 請 免 除	6,851
そ の 他	580
計	13,912

(2) 裁定請求等受理状況

区 分	件 数 (件)
老 齢 ・ 通 算 老 齢 ・ 老 齢 基 礎 年 金	39
障 害 基 礎 年 金	81
遺 族 基 礎 年 金	1
寡 婦 年 金	1
未 支 給 年 金	14
死 亡 一 時 金	15
現 況 届	1,087
特 別 障 害 給 付 金	0
そ の 他	23
計	1,261

(3) 老齢福祉年金関係届受理状況

区 分	件 数 (件)
未 支 給 年 金 請 求	4
現 況 届	19
失 権 届	1
そ の 他	0
計	24

# 介 護 保 険 課

## ○ 老人福祉関係

### 1 老人福祉施設等建設補助金

第3期伊勢市介護保険事業計画に基づき、法人が行う高齢者福祉施設の面的整備及び当該施設の配置構想を実現するために行なう事業に対して補助を行った。

交付事業者

法人名	施設名	施設所在地	定員（人）	補助金額（円）	備考
株式会社 ウェルフェア	小規模多機能ホーム ふたみ	二見町松下 1349-62	25	15,000,000	面的整備分 ※注1
伊勢度会医療 生活協同組合	在宅総合センター 宮川さくら苑夜間対 応型訪問介護	中島2丁目24-24	20	4,524,000	面的整備分
				21,030,000	配置構想実現 のための事業
株式会社 森伸	小規模多機能ホーム 森伸伊勢西	磯町1835-4	21	15,000,000	面的整備分
				3,000,000	配置構想実現 のための事業

（注1）平成19年度から繰越を行なった。

### 2 高齢者住宅改造事業補助金

低所得の介護保険要介護（支援）認定者及び虚弱高齢者が安心して日常生活を送れるように、在宅生活を支えるための住宅改造に要した費用について補助を行い、当該高齢者の福祉の増進と家族の介護負担の軽減を図った。

補助件数 13 件

補助金額 3,799,400 円

### 3 低所得利用者負担支援事業

#### (1) 訪問介護利用者負担支援事業

介護保険法施行時にホームヘルプサービスを利用していた低所得の高齢者、障害者等に対して、介護保険制度の導入に伴う利用者負担の激変緩和を図るため、利用者負担（10%）を軽減し、訪問介護サービスの継続的な利用の促進を図った。

対象者は、若年の頃から障害者施策によるホームヘルプサービスを利用していた者で65歳になって介護保険適用となった者、又は40歳から64歳までの者で低所得（生計中心者が所得税非課税）の者。

公費負担率4% 20人 206,531円

## (2) 社会福祉法人利用者負担支援事業

### ① 通常の社会福祉法人利用者負担支援事業

介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等がその社会的役割として、低所得で特に生計が困難である者に対して利用者負担額を減額する場合に、当該社会福祉法人等に対して補助金を交付することにより、介護保険サービスの利用促進を図るものである。なお、今年度の法人からの補助金交付申請件数は0件であった。

- ア 対象者 軽減確認者 29人
- イ 軽減割合 利用者負担段階第1段階の利用者 利用者負担額の1/2  
利用者負担段階第2、3段階の利用者 利用者負担額の1/4
- ウ 軽減対象サービス（三重県に申し出のあった社会福祉法人等の行うサービスに限る。）
  - ・訪問介護
  - ・通所介護
  - ・短期入所生活介護
  - ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）への長期入所

### ② 激変緩和措置の社会福祉法人利用者負担支援事業

平成18年度の税制改正（高齢者の非課税限度額の廃止）の影響により、市民税非課税世帯から課税世帯になった者に対して、通常の社会福祉法人利用者負担制度よりも緩やかな基準を適用することにより、介護保険の利用者負担額急増の緩和を図った。

- ア 対象者 軽減確認者 11人
- イ 軽減割合 利用者負担額の1/8
- ウ 軽減対象サービス（三重県に申し出のあった社会福祉法人等の行うサービスに限る。）
  - ・訪問介護
  - ・通所介護
  - ・短期入所生活介護
  - ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）への長期入所

③ 補助金交付件数 0件

④ 補助金額 0円

## ○ 介護保険料関係

### 1 介護保険料の収納

収納率の向上を図るため、口座振替制度の推進、滞納者への早期訪問、文書、電話による自主納付の勧奨、介護保険制度の周知及び理解に努めた。

また、低所得者の負担軽減を図るため、税制改正に伴う激変緩和措置を平成 20 年度も延長実施したことについて、広報への掲載・ケーブルテレビ文字放送・納入通知書にパンフレットを同封するなどの方法により周知を行った。

#### (1) 介護保険加入第 1 号被保険者数

被保険者数（人）	特別徴収		普通徴収	
	人数（人）	構成比（％）	人数（人）	構成比（％）
33,849	30,835	88.6	3,960	11.4

※ 被保険者数は平成 21 年 3 月末事業状況報告より

※ 徴収区分別人数は調定資料納付義務者数（併徴者按分）より

#### (2) 介護保険料収納状況（平成 21 年 5 月末）

区分		調定額 （円）	収入済額 （円）	還付未済額 （円）	収納額 （円）	不納欠損額 （円）	収入未済額 （円）	収納率 （％）
現 年 度 分	特別 徴収	1,453,688,860	1,455,113,300	1,424,440	1,453,688,860	—	△1,424,440	100.0
	普通 徴収	150,618,000	133,055,240	154,380	132,900,860	—	17,562,760	88.2
	小計	1,604,306,860	1,588,168,540	1,578,820	1,586,589,720	—	16,138,320	98.9
滞 納 繰 越 分	特別 徴収	0	0	0	0	—	0	—
	普通 徴収	31,628,080	7,026,740	20,000	7,006,740	10,718,780	13,882,560	22.2
	小計	31,628,080	7,026,740	20,000	7,006,740	10,718,780	13,882,560	22.2
合 計		1,635,934,940	1,595,195,280	1,598,820	1,593,596,460	10,718,780	30,020,880	97.4

#### (3) 介護保険料収入区分

区 分	収入額（円）	収入割合（％）
口 座 振 替	55,794,944	3.5
訪 問 徴 収 等	52,706,078	3.3
金 融 機 関 等	31,580,958	2.0
特 別 徴 収 分	1,455,113,300	91.2
計	1,595,195,280	100.0

## 2 税制改正に伴う激変緩和措置の実施

平成 18 年度の税制改正（高齢者の非課税限度額の廃止）の影響により、本人若しくは同一世帯員が市民税課税となり、所得段階区分が上がった者に対して、保険料負担の急激な増加を避けるため、平成 18 年度・平成 19 年度に段階的に保険料を引き上げる措置を講じた。

平成 19 年 12 月に改正政令が公布されたことに伴い、平成 20 年度も引き続き実施することが可能となったため、急激な負担増を抑制することを目的として、対象となる被保険者の保険料率を平成 19 年度の水準に留める措置を平成 20 年度に実施した。

所得段階		適用者数（人） ※平成 20 年 6 月 1 日時点
税制改正がなかった場合	⇒ 税制改正があった場合	
第 1 段階	第 4 段階	0
第 1 段階	第 5 段階	1
第 2 段階	第 4 段階	329
第 2 段階	第 5 段階	21
第 3 段階	第 4 段階	474
第 3 段階	第 5 段階	1,904
第 4 段階	第 5 段階	1,587
計		4,316

## ○ 介護認定関係

### 1 申請及び認定状況

介護保険法に基づく要介護等認定申請件数及び要介護等認定者数は、次のとおりである。

#### (1) 要介護等認定申請件数

新規申請	更新申請	区分変更申請	小計	転入申請	合計
1,594 件	5,048 件	671 件	7,313 件	28 件	7,341 件

(平成20年4月～平成21年3月)

#### (2) 要介護等認定者数

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
412 人	611 人	1,205 人	1,066 人	1,186 人	815 人	629 人	5,924 人

(平成21年3月末現在)

### 2 介護認定審査会の状況

介護保険法及び伊勢市介護保険条例に基づき、伊勢市介護認定審査会を設置し、要介護認定等に係る審査判定業務を行った。

(1) 委員数 68人 (17合議体・1合議体4人で構成)

(2) 委員構成 医療関係者 43人

(医師24人、歯科医師 6 人、薬剤師 3 人、看護師 7 人、柔道整復師 2 人、理学療法士 1 人)

福祉関係者 19人

保健関係者 6 人

(3) 開催回数 212回

(4) 判定件数 ※申請件数との相違は、申請取下げ、21年度への持越し等による。

非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
25 件	582 件	853 件	1,630 件	1,339 件	1,071 件	770 件	686 件	6,956件

(平成20年4月～平成21年3月)

### 3 認定調査の状況

介護保険法に基づき、要介護等認定申請に係る被保険者の訪問調査を実施した。

(平成20年4月～平成21年3月)

(1) 調査件数 7,051件 (※申請件数との相違は、再調査、翌年度への持越し等による。)

内訳 市職員によるもの 6,583件

委託 (居宅介護支援事業者等) によるもの 468件

(2) 調査員数 15人 (嘱託職員11人、非常勤職員 4 人 ※平成21年3月末現在)

## ○ 介護給付関係

### 1 指導監査

介護サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図り、もって介護保険事業の健全な運営を図るため、地域密着型サービス事業者に対し指導監査を実施した。

実地指導 4回

内訳 (介護予防) 認知症対応型共同生活介護 3回

(介護予防) 認知症対応型通所介護 1回

集団指導 1回

### 2 伊勢市介護保険推進協議会の開催

本市における介護保険事業について、市民等から意見を聴き円滑な運営を図るとともに、「伊勢市老人福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、伊勢市介護保険推進協議会を開催した。

委員数人 20人

委員構成 学識経験者、保健・医療関係者 (3人)、自治会代表 (4人)、民生委員代表 (2人)、老人クラブ代表、介護保険施設代表、居宅サービス事業者代表 (3人)、障害者団体代表、介護保険被保険者代表 (4人)

開催実績 7回

### 3 保険給付

介護保険法に基づき、要介護(要支援)被保険者に対して次のとおり保険給付を行った。

#### (1)居宅介護（介護予防）サービス月別受給者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計（人）
4月	175	287	669	719	719	415	254	3,238
5月	175	296	661	730	744	419	244	3,269
6月	172	282	696	719	760	408	237	3,274
7月	162	286	711	723	762	411	243	3,298
8月	166	291	713	732	772	407	232	3,313
9月	166	293	731	742	752	408	224	3,316
10月	167	288	739	743	756	408	231	3,332
11月	178	290	761	755	749	409	238	3,380
12月	173	304	764	753	755	413	238	3,400
1月	166	309	783	743	757	398	235	3,391
2月	161	311	787	734	756	410	235	3,394
3月	172	314	798	739	742	414	236	3,415
合計	2,033	3,551	8,813	8,832	9,024	4,920	2,847	40,020
月平均	169.4	295.9	734.4	736.0	752.0	410.0	237.3	3,335.0

## (2) 地域密着型（介護予防）サービス月別受給者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計（人）
4月	1	0	36	46	91	55	14	243
5月	1	0	34	50	94	59	17	255
6月	1	0	34	51	89	60	19	254
7月	1	0	33	51	88	59	19	251
8月	0	0	37	61	92	61	19	270
9月	0	0	41	61	93	62	20	277
10月	0	0	46	57	101	64	23	291
11月	0	0	47	54	100	63	23	287
12月	0	0	48	58	103	63	28	300
1月	0	1	50	54	97	62	29	293
2月	0	1	52	52	100	63	31	299
3月	0	2	48	61	102	63	31	307
合計	4	4	506	656	1,150	734	273	3,327
月平均	0.3	0.3	42.2	54.7	95.8	61.2	22.8	277.3

## (3) 施設介護サービス月別受給者数

	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	計(人)
4月	529	410	49	988
5月	526	416	60	1,002
6月	534	412	16	962
7月	532	412	24	968
8月	529	419	16	964
9月	536	420	14	970
10月	534	431	13	978
11月	533	434	15	982
12月	529	443	15	987
1月	531	451	16	998
2月	535	451	16	1,002
3月	532	447	17	996
合計	6,380	5,146	271	11,797
月平均	531.7	428.8	22.6	983.1



## (4) 保険給付費

経 費	件 数(件)	金 額 (円)	摘 要
居宅介護(介護予防)サービス給付費 (内訳)	79,960	3,844,520,369	
訪問介護	14,267	675,665,070	
訪問入浴介護	986	47,216,385	
訪問看護	5,974	248,999,272	
訪問リハビリテーション	731	14,331,600	
通所介護	22,888	1,433,395,136	
通所リハビリテーション	4,312	256,551,840	
福祉用具貸与	16,510	206,866,737	
短期入所	7,442	645,651,068	
居宅療養管理指導	4,887	29,798,370	
特定施設入居者生活介護	1,958	286,036,521	
特定診療費	5	8,370	
地域密着型介護(介護予防)サービス 給付費 (内訳)	3,433	638,809,434	
認知症対応型共同生活介護	1,822	431,596,467	
地域密着型介護老人福祉施設	239	53,866,296	
認知症対応型通所介護	866	73,055,700	
小規模多機能型居宅介護	472	79,964,091	
夜間対応型訪問介護	34	326,880	
施設介護サービス給付費 (内訳)	12,139	2,831,043,082	
介護老人福祉施設	6,405	1,495,628,090	
介護老人保健施設	5,247	1,262,953,256	
介護療養型医療施設	244	67,740,345	
特定診療費	243	4,721,391	
食事費用額	0	0	
居宅介護(介護予防)福祉用具購入費	604	14,611,918	腰掛便座 271件 特殊尿器 2件 入浴補助具 493件 簡易浴槽 1件 リフトつり具 3件 (※複数購入者有)
居宅介護(介護予防)住宅改修費	546	59,812,226	手すり取付け 478件 段差解消 234件 通路面変更 46件 扉等取替 56件 便器取替 52件 (※複数工事者有)
居宅介護(介護予防)サービス計画給 付費	37,319	390,668,215	
高額介護(介護予防)サービス費	13,623	122,343,785	
特定入所者介護(介護予防)サービス 費	10,947	350,278,590	

※ 保険給付費は、(1)、(2)及び(3)に掲げる受給者のうち、平成20年3月から平成21年2月までの受給者に係るものである。(現物給付分は3月から翌年2月分までのサービス提供に係る保険給付を一つの会計年度として取り扱うこと等による。)

#### 4 家族介護交流事業

介護保険において要介護3、4又は5に認定された方を在宅にて介護している家族を対象に、日帰り旅行等を活用した介護者相互の交流会を行い、介護から一時的に解放されることで心身の元気回復を図った。

参加者 45名

支出額 132,630円

#### 5 介護用品支給事業

介護保険において要介護4又は5と認定され、かつ在宅にて介護を受けている者(入院中も含む)のうち、市民税非課税世帯に該当する者に対して、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド・紙パンツ・清拭剤・ドライシャンプーの購入費用について、その一部をクーポン券の支給により補助し、高齢者福祉の更なる向上と介護負担の軽減を図った。

(1) 支給者数 384人

(2) 支給枚数 6,364枚

(3) 利用枚数 5,294枚

(4) 事業費 16,111,962円(うち事務費 229,962円)

#### 6 家族介護慰労事業

在宅の高齢者等を介護する家族に対して、家族介護等慰労金を支給することにより、その家族の精神的及び経済的負担の軽減を図った。

対象者 1名

支給金額 100,000円

#### 7 住宅改修指導事業

介護保険の要介護又は要支援の認定者で、居宅介護支援の提供を受けていない者が、適切な住宅改修がおこなえるよう、住宅改修費の支給申請に必要な「理由書」の作成者に対し助成を行った。

対象者 居宅介護支援事業所等

作成件数 164件

助成金額 328,000円

#### 8 介護相談員派遣事業

介護保険サービス利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに事業所におけるサービスの質的な向上を図るため、介護相談員を派遣し、利用者の相談業務を行った。

また、活動及び相談内容を載せた介護相談員だよりを発行し、市内介護サービス事業所へ送付した。

介護相談員数 7人

派遣先事業所 13法人38事業所

## 9 介護保険制度の周知

介護保険制度や事業計画について、パンフレットの配布・広報への掲載等により周知活動を行った。また、要請のあった団体に対し説明会を実施した。

### (1)パンフレット配布

「いつも笑顔で介護保険」、「特定福祉用具の購入をお考えの方へ」、「介護保険の住宅改修」、「介護保険料だより」を作成し、窓口での配布を行った。

### (2)説明会等の実施

- ・要請のあった団体（民協等）に対し、説明会を実施した。（6回）
- ・人材育成カレッジにて、市職員に対し介護保険制度の講習を実施した。（2回）

### (3)広報

連載企画（全10回）として「教えて！介護保険」を広報いせ6～3月号に掲載した。また、保険料や税控除に関するお知らせなどを掲載した。（14回）

### (4)ケーブルテレビ

確定申告に利用できる税控除のお知らせや保険料の納入通知書・納入済額通知書の送付、及び激変緩和措置の延長実施について文字放送を行った。（4回）

### (5)ホームページ

介護保険料の激変緩和措置の延長実施についてホームページに掲載した。

# 生 活 支 援 課

## ○ 社会福祉関係

### 1 行旅者の一時扶助取扱状況

行旅病人等一時扶助 61件 37,666円

### 2 災害見舞金支給状況（「伊勢市災害見舞金支出要綱」による。災害救助法の適用を受けるに至らない災害罹災者対象）

火事全焼 5件 250,000円

火事半焼 2件 60,000円

床上浸水 6件 120,000円

死 亡 0件 0円

### 3 民生委員・児童委員活動事業

#### (1) 伊勢市民生委員児童委員協議会連合会

##### ア 定数

	定数	現在員（H21.3.31）
民生委員・児童委員 （うち主任児童委員）	296名 (28名)	287名（男120名 女167名） (28名（男5名 女23名））

##### イ 活動状況

12地区の民生委員・児童委員協議会相互の情報収集と親睦を図るため、伊勢市民生委員児童委員協議会連合会の役員会を11回開催した。

4月14日 総会・平成20年度事業計画・予算等協議

5月12日 総会・前期研修会開催等協議

6月9日 各種研修会参加予定等協議

8月11日 災害時要援護者登録事務等協議

9月8日 各種委員会・専門部会等協議

10月14日 視察研修会開催、広報活動等協議

11月10日 後期研修会開催等協議

12月8日 後期研修会開催、各種審議会委員選考等協議

1月13日 後期研修会・各種研修会開催等協議

2月9日 連合会役員構成、21年度総会・研修会等協議

3月9日 21年度事業計画、総会・研修会開催等協議

##### ウ 民生委員・児童委員の資質の向上を図るために民生委員・児童委員全体の研修を行った。

5月22日 「ふるさと未来づくりの取り組みについて」（前期全体研修）

講師 伊勢市長 森下 隆生 氏

9月29日 「民生委員・児童委員活動を振り返って」(後期全体研修)

講師 名張市社会福祉協議会会長 石井 洋子 氏  
(前三重県民生委員児童委員協議会会長)

エ 地区民生委員協議会

協議会名	委員数	担当地区
五十鈴地区	30名	進修・修道・四郷
倉田山地区	27	明倫・有緝
厚生地区	22	厚生
宮川地区	26	早修・中島
港地区	31	神社・大湊・浜郷
城田地区	14	城田
豊浜地区	13	豊浜
北浜地区	12	北浜
南部地区	24	宮本・沼木
二見地区	22	二見町
小俣地区	44	小俣町
御菌地区	22	御菌町
計	287	—

(2) 民生委員推薦会

民生委員・児童委員の任期途中における退任、また、平成19年度の一斉改選の追加候補者の審査・推薦については、本来民生委員推薦会を開催し、新たな民生委員・児童委員の推薦を行うべきところであるが、事務の迅速及び簡素化により持ち回りで審査を行った。(持ち回り審査6回)

4 保護司関係

(1) 定数 43名

H20. 4. 1 在職人員	H20. 4. 1～H21. 3. 31の異動		H21. 3. 31 在職人員
	新任	退任	
40名	0名	3名	37名

(2) 活動状況

ア 罪を犯した人たちの更生を援助するとともに、犯罪予防の啓発に努め、地域社会から犯罪の根絶を図った。

イ 保護司としての使命の自覚、人格識見の向上並びに職務遂行上必要な知識及び技術の修得のため、津保護観察所の指導を得て4回の定期研修会を、更に自主的な研修事業として体験発表会及びブロック研修会を行った。

(定期研修)

6月26日	第1期統一研修会	講師	津保護観察所保護観察官	野田晴子 氏
9月4日	第2期統一研修会	講師	同	上
12月18日	第3期統一研修会	講師	同	上
3月5日	第4期統一研修会	講師	同	上

(研修視察)

10月9～10日 福井刑務所

(自主研修)

1月23日 三重刑務所施設参観

3月12日 伊勢・志摩・度会保護区合同ブロック研修会

(3) 社会を明るくする運動

7月1日から7月31日までの間、伊勢警察署、伊勢市総連合自治会等関係団体との共催で、第58回社会を明るくする運動の実施に協力した。

7月1日～7月31日 厚生小学校前と宇治山田駅前の歩道橋に啓発宣伝用横断幕を設置

7月1日～7月31日 市役所本庁舎と各総合支所に啓発宣伝用懸垂幕を設置

7月1日～9月8日 社会を明るくする運動作文コンテスト実施

7月1日～9月12日 社会を明るくする運動書道コンクール実施

7月1日 宇治山田駅と明野駅周辺で街頭啓発

7月2日～7月7日 広報車による市内啓発

7月5日 市民の集い開催

講演「サイバー犯罪について」

講師 伊勢市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 平松久樹氏

広報映画上映「ボクの居場所」

7月10日 中学生非行防止啓発

市内の全中学生（3,991名）に非行防止啓発物質を配布

また、伊勢市総連合自治会の協力を得て「愛の資金」募金を実施した。

目標額	3,200,000円
実績額	3,298,856円

## ○ 遺家族等援護事業

### 1 戦没者等遺族の受付状況

戦没者等の遺族に対する第8回特別弔慰金 受付 0件

戦傷病者の妻に対する特別給付金 受付 0件

戦没者の妻に対する特別給付金 受付 0件

### 2 恩給関係書類交付及び指導状況

受給者死亡に係る失権届提出指導 3件

受給権調査、請求相談指導 8件

住所変更届等 6件

恩給欠格者書状等請求指導 51件

### 3 伊勢市戦争犠牲者追悼式

戦争犠牲者を追悼し、恒久平和を祈念することを目的に、平成20年度伊勢市戦争犠牲者追悼式を開催した。

開催年月日	平成20年10月28日（火）		
開催場所	伊勢市生涯学習センター いせトピア 多目的ホール		
参列者	戦没者、戦災死没者及び引揚げ物故者の遺族	338名	
	来賓及び役員		41名

## ○ 婦人相談関係

女性に対する人権侵害等の悩み、また平成13年10月13日「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の施行により相談及び援助に関わる中で、その問題の解決や処遇を行い、次のとおり成果を収めた。

婦人相談の状況

相談種別	実人員	延べ件数
夫等の暴力（DV）	37人	305件
離婚問題	18	24
夫等の問題（酒乱・薬物中毒等）	4	5
子どもの問題 （子どもの暴力・養育不能等）	2	2
親族の問題 （親・その他親族の暴力等）	1	1
その他の人間関係	5	5
経済関係 （借金・生活困窮等）	1	2
医療関係	1	5
合計	69	349

一時保護の状況 7件

## ○ 生活保護関係

健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とした生活保護法の理念に基づいて、適正な保護の実施に努めた。

### 1 生活保護法による扶助実施状況

区分 月別	被保護 世帯数	被保護 人員	保 護 の 状 況							
			生活 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	介護 扶助	医療 扶助	出産 扶助	生業 扶助	葬祭 扶助
4	世帯 861	人 1,149	人 987	人 800	人 72	人 166	人 915	人 0	人 27	人 0
5	855	1,143	985	796	72	164	924	0	27	0

6	人 859	人 1,149	人 990	人 797	人 71	人 168	人 918	人 0	人 27	人 0
7	861	1,151	984	793	74	168	940	0	24	2
8	859	1,138	972	788	71	164	910	0	24	0
9	857	1,135	966	781	69	165	904	0	24	0
10	856	1,133	975	779	72	171	907	0	25	0
11	856	1,133	977	775	70	177	912	0	24	0
12	867	1,145	985	785	71	174	911	0	25	2
1	864	1,149	985	792	75	171	923	0	24	0
2	863	1,149	987	794	75	169	929	0	25	1
3	877	1,164	993	799	71	173	953	0	26	0
累計	10,335	13,738	11,786	9,479	863	2,030	11,046	0	302	5

## 2 扶助費支給状況

種 別	延べ世帯数	延べ人員	支出金額	構 成 比
	世帯	人	円	%
生活扶助	8,606	11,786	551,410,022	27.39
住宅扶助	6,944	9,479	180,216,974	8.95
教育扶助	543	863	6,142,747	0.31
介護扶助	1,908	2,030	38,719,617	1.92
医療扶助	9,023	11,046	1,202,364,759	59.73
出産扶助	0	0	0	0
生業扶助	267	302	3,222,643	0.16
葬祭扶助	5	5	1,348,863	0.07
小 計	27,296	35,511	1,983,425,625	98.53
保護施設事務費	193	193	29,682,812	1.47
合 計	27,489	35,704	2,013,108,437	100.00

## ○ 福祉施設管理関係

地域福祉の活動拠点となる福祉施設の管理を行い、心身障害者、老人、児童等の福祉の向上と市民の健康増進を図った。なお、平成 18 年 9 月 1 日から福祉健康センター及びみなとデイサービスセンターに指定管理者制度を導入し、サービスの向上を図っている。

### (1) 福祉健康センター



ア 施設の内容

身体障害者福祉センター

老人福祉センター

中央児童センター

心身障害者小規模授産施設（ひまわり授産所）

会議室（１・２で老人デイサービス）（３・４・５は会議、研修等）

中央保健センター

休日・夜間応急診療所（内科・小児科・歯科）

イ 指定管理者及び指定管理料（建物管理分）

指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

平成 20 年度指定管理料 36,333,000 円

指定期間 平成 18 年 9 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで（4 年 7 ヶ月間）

ウ 利用及び使用状況

区分 月別	身体障害者福祉センター	老人福祉センター	中央児童センター	会議室	保健センター	休日 夜間 応急 診療所	ヘルストロン	その他	計
4	人 2,744	人 2,400	人 1,774	人 1,457	人 2,459	人 1,432	人 1,549	人 113	人 13,928
5	2,797	2,342	1,748	1,376	2,410	2,008	1,627	82	14,390
6	2,690	2,101	1,971	1,464	3,076	1,150	1,585	227	14,264
7	3,337	3,216	2,333	1,723	3,602	1,544	1,582	157	17,494
8	2,590	2,141	3,087	1,053	3,797	1,282	1,529	130	15,609
9	2,562	2,426	1,417	1,288	2,492	1,324	1,398	161	13,068
10	2,750	2,108	1,547	1,292	2,649	1,210	1,545	89	13,190
11	2,452	2,541	1,615	1,100	2,869	1,748	1,453	102	13,880
12	2,386	1,937	1,305	1,077	2,541	2,130	1,375	89	12,840
1	2,414	2,134	1,291	970	2,495	3,810	1,387	120	14,621
2	2,516	2,128	1,523	1,153	2,842	1,974	1,429	105	13,670
3	2,675	2,749	2,042	1,301	2,978	1,808	1,488	125	15,166
合計	31,913	28,223	21,653	15,254	34,210	21,420	17,947	1,500	172,120

エ 使用料収入

区分 月別	センター使用料	附属設備器具使用料	冷暖房使用料	計
4	円 337,800	円 0	円 0	円 337,800
5	8,500	2,100	0	10,600

6	円 7,700	円 0	円 2,460	円 10,160
7	13,300	2,050	4,590	19,940
8	4,800	0	5,100	9,900
9	31,100	0	6,540	37,640
10	22,900	6,040	9,850	38,790
11	14,300	0	0	14,300
12	8,200	2,760	1,640	12,600
1	9,600	4,160	5,230	18,990
2	34,000	2,250	13,420	49,670
3	32,200	5,570	4,000	41,770
合計	524,400	24,930	52,830	602,160

オ 施設の整備

(ア) 業務委託

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
八日市場町 地内	福祉健康センター 空冷チラー熱交換 器洗浄業務委託	熱交換器部汚濁 不純物高圧洗浄 業務	円 97,650	20. 4. 25	20. 5. 8

(イ) 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
八日市場町 地内	福祉健康センター 自動ドア修繕工事	引分ドアエンジ ン装置取替え 2箇所	円 500,850	20. 7. 9	20. 7. 29
〃	福祉健康センター 多目的便所改修工 事	ベビーシート・ベ ビーチェア取付 各1台	237,300	20. 10. 14	20. 11. 7
〃	福祉健康センター 消火水槽防水工事	消火水槽防水工 一式	199,500	20. 11. 12	20. 12. 11
〃	福祉健康センター 空調設備修繕工事	2階ホール系統用 空調機 AHU-1 整 備工 一式 熱源系統制御指 示調節器取替工 一式	934,500	20. 12. 22	21. 2. 19
〃	福祉健康センター オストメイト対応 トイレ設備整備工 事	オストメイト設 備設置 1箇所	735,000	20. 12. 26	21. 3. 13

(2) みなとデイサービスセンター

ア 施設の内容

デイサービスセンター

在宅介護支援センター

イ 指定管理者及び指定管理料（建物管理分）

指定管理者 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

平成 20 年度指定管理料 2,756,000 円

指定期間 平成 18 年 9 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで（4 年 7 ヶ月間）

## ○ 社会福祉協議会関係

伊勢市社会福祉協議会を通じて、市民の多様なニーズに即応した福祉サービスの提供など、地域福祉の推進に大きな役割を果たした。

### 1 福祉ボランティア育成事業

市民ボランティアの活動拠点としてボランティアセンターを設置し、地域住民の福祉ニーズに応じた福祉の担い手養成のため、ボランティア活動への助成及び講座等の開催を行った。

(1) ボランティアセンター登録 団体登録 112 団体（2,276 人） 個人登録 766 人

(2) ボランティアグループ 23 団体へ活動支援として助成金を交付した。

(3) 福祉協力校に登録する小中高校 40 校へ福祉教育の支援として助成金を交付した。

(4) ボランティア養成講座、サマーボランティアスクール、ボランティア体験講座等を開催した。

### 2 伊勢市社会福祉大会の開催

伊勢市と共催で第 4 回伊勢市社会福祉大会を開催した。市内の福祉関係者が一堂に会し、福祉功労者を顕彰し、併せて地域福祉の啓発のため、福祉講演会を行った。

開催年月日 平成 21 年 2 月 14 日（土）

開催場所 伊勢市ハートプラザみその

顕彰者 団体 3、個人 32（うち市長感謝状 団体 1、個人 3）

参加者 361 人

講演会 講師 住民流福祉総合研究所 代表 木原 孝久 氏

演題 「ご近所パワーで助け合い起こし

～これが住民流『福祉のまちづくり』だ！！～」

### 3 ふれあいのまちづくり事業

ふれあいを通じて、住民が共に地域で支えあうまちづくり体制と、地域特性を活かした創意と工夫による生活支援のしくみづくりを推進するため、各種事業を実施した。

(1) 地域福祉コーディネーターの設置

事業の企画立案や地域住民と関係機関とのネットワークづくりを行った。

(2) 無料法律相談

弁護士が生活問題を抱えている住民の方の相談に応じた。

実施回数 24回 相談者延人数 83人

(3) 心配ごと相談事業

民生委員・児童委員が相談員となって、住民の身近な相談窓口として、様々な相談に応じた。

実施回数 48回 相談者延人数 32人

(4) 福祉出前トークの開催

福祉サービスや福祉情報、社会福祉協議会が行う各種事業の紹介をするとともに、地域の福祉課題について話し合い、福祉ニーズを把握するため、社協職員が地域に出向いて講演等を行った。

実施回数 47回 参加者数 1,071人

(5) 一人暮らし高齢者会食サービス

民生委員・児童委員や調理ボランティア等の協力を得て、一人暮らし高齢者を対象に食事サービスを提供するとともに地域による見守り活動を展開した。

会食サービス事業 実施回数 206回 延利用者数 5,219人

(6) ふれあいいいききサロン事業

地域住民やボランティア、福祉団体が主体となって実施する「ふれあいいいききサロン」へ助成を行い、明るく住み良い福祉のまちづくりを推進した。

区分	サロン設置数	実施回数	延参加者数
高齢者サロン	48箇所	478回	9,539人
子育てサロン	11	98	2,444
障がい児サロン	2	21	444

(参考)

社会福祉協議会 その他の主な地域福祉活動

1 小地域ネットワーク事業の推進

(1) 地域見守り活動事業

地域の子どもや高齢者に対し、地域で見守り活動を積極的に行えるよう、自治会、老人クラブ、ボランティア、福祉団体等 56 団体に活動助成を行い、一人暮らし高齢者や高齢者世帯等の見守り活動、登下校時の見守りや声かけ運動などの事業を展開した。

(2) 一人暮らし高齢者乳酸菌飲料等宅配サービス事業

一人暮らし高齢者が地域で安心して生活ができるよう、乳酸菌飲料等の配達を宅配業者の協力のもと行い、安否確認と健康維持を図った。

登録者数 91人 延利用回数 23,039回

## 2 地域の福祉組織化の推進

(1) こども会等活動助成事業	助成団体	106 団体
(2) 児童公園遊具等整備補修事業	助成箇所	11 箇所
(3) 福祉団体活動助成事業	助成団体	38 団体
(4) 福祉施設等活動助成事業	助成団体	32 団体

## 3 募金関係

### (1) 共同募金運動

三重県共同募金会伊勢市共同募金委員会として10月から12月までの3ヶ月間、共同募金運動を自治会、各福祉団体、ボランティア等の協力を得て実施した。

募金総額 21,530,518 円

(内訳) 戸 別 募 金	17,727,121 円
法 人 募 金	1,455,658 円
街 頭 募 金	1,086,532 円
職 域・学 校 募 金	1,140,719 円
そ の 他	120,488 円

# こ ども 課

## ○ 児童福祉関係

### 1 児童福祉施設の状況

#### (1) 保育所

保護者が労働に従事し、又は疾病等のため家庭保育に欠ける児童を、家庭状況調査の上、入所決定し、健全育成を図った。

#### ア 保育所の入所状況

##### (ア) 公立保育所

区分 施設名	入 所 の 状 況											延 べ 保 人 育 員
	定員	入 退 所 人 員			年 齢 別 入 所 人 員 (3月31日現在)							
		4.1	退 所	入所	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	
明 倫	人 90	人 88	人 6	人 13	人 6	人 6	人 16	人 19	人 24	人 24	人 95	人 1,108
浜 郷	120	113	5	13	5	9	19	27	33	28	121	1,436
さくらぎ	90	61	2	13	3	12	13	11	18	15	72	826
あさま	90	55	6	9	6	11	7	13	9	12	58	665
大世古	150	163	14	19	12	28	24	37	29	38	168	2,006
きらら	60	67	1	11	3	7	17	21	16	13	77	903
二見浦	200	155	3	17	6	11	20	41	43	48	169	1,939
五 峰	100	106	0	9	6	12	12	28	27	30	115	1,329
高 城	60	45	5	7	4	2	5	8	14	14	47	560
あけぼの	100	115	3	5	3	22	20	29	24	19	117	1,399
しらとり	60	60	0	5	0	0	12	11	22	20	65	753
ゆりかご	120	135	2	6	4	20	30	26	29	30	139	1,670
御菌第一	180	171	10	19	3	18	31	33	41	54	180	2,135
御菌第二	150	80	3	14	4	10	18	15	23	21	91	1,063
合 計	1,570	1,414	60	160	65	168	244	319	352	366	1,514	17,792

## (イ) 私立保育所

区分 施設名	入 所 の 状 況											延 べ 保 育 人 員
	定員	入 退 所 人 員			年 齢 別 入 所 人 員 (3 月 31 日 現 在)							
		4.1	退所	入所	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計	
大 湊	人 90	人 82	人 2	人 9	人 2	人 5	人 21	人 19	人 27	人 15	人 89	人 1,027
一 色	120	135	5	20	9	17	28	27	28	41	150	1,716
村 松	45	40	0	11	8	9	3	12	5	14	51	532
船 江	120	80	12	11	9	3	18	14	17	18	79	972
たけのこ	120	105	1	11	12	13	17	24	27	22	115	1,340
マリア	120	126	4	17	21	16	24	25	28	25	139	1,619
東大淀	90	67	5	22	5	7	15	17	17	23	84	920
豊浜西	120	138	9	26	12	13	28	29	40	33	155	1,808
みどり	60	33	1	2	1	1	9	10	6	7	34	393
有 滝	60	39	2	18	11	7	12	12	4	9	55	538
中 須	90	103	2	8	5	7	18	31	28	20	109	1,281
佐 八	90	74	5	14	6	8	13	18	18	20	83	952
みややま	90	80	2	19	6	13	18	17	25	18	97	1,099
なかよし	45	51	5	9	13	5	9	11	11	6	55	649
合 計	1,260	1,153	55	197	120	124	233	266	281	271	1,295	14,846

運営経費 963,406,870 円

## イ 特別保育事業

仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を支援し、安心して子育てができる環境を整備するため、各種の特別保育事業を実施した。

## (ア) 保育所地域活動事業

公私立保育所全施設において、地域住民が主体的に子育てに関われるようにし、多世代の交流を促進した。

## (イ) 障害児保育事業

保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童について、保育所に受入れをして健常な児童とともに保育することにより健全育成を図った。

区分	重 度	中 度	計	保 育 所 ( 園 )
公 立	12 人	17 人	29 人	明倫、さくらぎ、大世古、きらら、二見浦、高城、あけぼの、しらとり、ゆりかご、御菌第一、御菌第二
私 立	6	6	12	大湊、一色、村松、たけのこ、マリア、東大淀、中須、佐八、なかよし
合 計	18	23	41	—

(ウ) 地域子育て支援センター事業

地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、児童の健やかな育ちを促進することを目的として、子育て支援センターきらら館、明倫保育所、二見浦保育園（平成20年10月事業開始）において、専任の保育士を配置し、子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル等への支援等を実施した。

子育て支援センターきらら館

- ・来館者数 延べ22,715人
- ・子育て講座 107回 延べ4,645人
- ・出前保育（コミュニティーセンター・児童センター等） 35回 延べ753人
- ・夏祭り 1回 86人
- ・運動会 1回 42人
- ・もちつき 1回 82人
- ・クリスマス会 2回 99人
- ・子育て相談 267件
- ・機関紙発行 18回
- ・サークル支援 6団体

明倫保育所

- ・利用者数 延べ1,197人
- ・子育て講座 16回 延べ337人
- ・夏祭り 1回 30人
- ・運動会 1回 46人
- ・クリスマス会 1回 48人
- ・人形劇 1回 33人
- ・子育て相談 9件
- ・機関紙発行 12回



二見浦保育園（平成 20 年 10 月事業開始）

- ・利用者数 延べ 1,277 人
- ・子育て講座 20 回 延べ 420 人
- ・かるたとり 1 回 12 人
- ・やきいも会 1 回 89 人
- ・クリスマス会 1 回 21 人
- ・もちつき会 1 回 49 人
- ・ひなまつり会 1 回 11 人
- ・人形劇 2 回 57 人
- ・子育て相談 29 件
- ・機関紙発行 29 回

(エ) 休日保育事業

日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で児童の保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。

実施保育所	保育所きらら館	延べ	426 人
	なかよし保育所	延べ	276 人

(オ) 一時保育促進事業

保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。

実施保育所	保育所きらら館	1 日利用	延べ 870 人
		半日利用	延べ 348 人

(カ) 延長保育促進事業（交付金事業）

早朝から保育所を開所し、11 時間を超えて、さらに 30 分、1 時間の延長保育を行い保護者の利便を図った。

実施保育所

大世古保育所	開所時間	午前 7 時 15 分～午後 7 時 15 分	延べ 174 人
保育所きらら館		午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分	延べ 27 人
たけのこ保育園		午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分	延べ 110 人
船江保育園		午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分	延べ 44 人
みややま保育園		午前 7 時 00 分～午後 7 時 00 分	延べ 65 人
なかよし保育所		午前 6 時 30 分～午後 9 時 00 分	延べ 152 人

(キ) その他の保育事業

・低年齢児保育推進事業

延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上の0、1歳児が入所する保育所に対して、0、1歳児保育の推進を図るため、保育士配置基準を緩和して保育士を配置した。

実施保育所 公立 2箇所 0、1歳児 延べ 508人  
私立 5箇所 0、1歳児 延べ 738人

・延長保育促進事業（職員処遇改善分）

通常の保育時間を超えて、9時間以上の保育を実施している保育所へ補助し、職員の処遇改善を図った。

実施保育所 私立 13箇所

・一般保育事業

私立保育所と公立保育所の格差是正のため、補助金を交付し、私立保育所運営の円滑化を図った。

ウ 電話による乳幼児の育児相談

家庭で乳幼児の育児に悩む保護者を対象に、保育所が地域における身近な相談窓口（主に電話相談）という専門機能を生かし、相談事業を実施して保護者の育児不安の解消と乳幼児の健全育成を図った。

(ア) 実施保育所 大世古保育所

(イ) 電話相談実施日数 243日

(ウ) 電話相談実施状況

区分	相談内容			計
	基本的な生活習慣	発育・発達	その他	
相談件数	2件	0件	6件	8件

エ 保育所施設の整備

保育所施設の維持補修のため、次のとおり業務を委託した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
御 菌 町 長 屋 地 内 ほ か	保育所樹木剪定 等業務委託	保育所内樹木の剪定 4施設	円 626,850	20.12.3	21.1.14

保育所施設の機能の維持を図るため、次のとおり工事を実施した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小 俣 町 湯 田 地 内	しらとり園空調 設備改修工事	厨房用エアコン取替 1台 休憩室壁掛エアコン新設 1台 冷媒配管・配線 一式 既設機器配管等撤去処分 一式 フロンガス回収破壊 一式	円 997,500	20.5.23	20.6.10

朝熊町地	あさま保育所空調設備改修工事	壁掛エアコン取替 2台 冷媒配管・内外連絡配線 一式 既設機器配管等撤去処分 一式 フロンガス回収破壊 一式	円 1,081,500	20. 5. 30	20. 6. 27
二見町地	(注1) 二見浦保育園子育て支援室設置工事	パーテーション設置 1箇所 床長尺シート張替え 33.3㎡ 既設間仕切り壁撤去 一式 照明器具・電話線等移設 一式 洋式便器取替 1箇所 屋外テラス防滑塗装 149㎡	2,754,150	20. 6. 27	20. 8. 29
桜木町地	さくらぎ保育所遊具設置工事	すべり台設置 1基	682,500	20. 6. 5	20. 7. 29
黒瀬町地	(注1) 浜郷保育所外壁塗替え工事	外壁クラック補修 一式 防水型弾性薄塗材E塗装 753㎡ 弾性ポリウレタン樹脂塗装 128㎡ アクリル樹脂系非水分形塗装 219㎡ サッシ廻りコーキング補修 315m 照明器具取替 5箇所	5,969,250	20. 9. 5	20.10. 31
朝熊町地	あさま保育所浄化槽配管改修工事	汚水排水ポンプユニット設置 1組 排水管設置 57m 小口径塩ビ桝設置 6組	1,249,500	20.12. 10	21. 1. 22
二見町山田原地内	五峰保育園テラス設置工事	アルミテラス取付 5箇所 (間口1.5間×出幅6尺)	856,800	20.12. 19	21. 2. 24
計	7件	—	13,591,200	—	—

(注1) 建築住宅課施行

(2) 助産施設

保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所措置し、保健の向上を図った。

施設名	区分	入所措置		措置費
		措置人員	延べ措置日数	
山田赤十字病院		2人	24日	376,590円

(3) 母子生活支援施設

18歳未満の児童を持つ母子世帯であって、その児童の福祉に欠ける母子を入所措置し、社会の共同生活に適応できるよう生活指導及び自立への支援を行った。

施設名	区分	入所措置		措置費
		措置世帯	措置期間	
サラナ		3世帯	2世帯 4～3月 1世帯 2～3月	7,708,328円
菜の花苑		2世帯	1世帯 4～3月 1世帯 4～12月	4,219,370円
愛知県立しらゆり荘		2世帯	1世帯 4～3月 1世帯 7～3月	県立のため三重県が負担。0円
計		7世帯		11,927,698円

(4) 児童館・児童センター

児童センターを利用する児童に、遊びと運動等の必要な指導を行うとともに、地域の子ども会、母親クラブ等の組織活動の育成助長を図り、児童の健全育成に努めた。

施設名	区分	開館 日数	児童の利用数				その他の 利用者	総入館 者数
			幼児	小学生	中学生	計		
あさま児童センター		日 300	人 544	人 2,182	人 194	人 2,920	人 992	人 3,912
黒瀬児童センター		294	228	3,730	182	4,140	207	4,347
中央児童センター		303	5,111	9,754	1,512	16,377	5,276	21,653
明照児童館（民間）		341	642	13,212	205	14,059	1,589	15,648
計		—	6,525	28,878	2,093	37,496	8,064	45,560

2 心身障害児通園施設（おおぞら児童園）

(1) 発達療育

- ・食事や排泄、衣服の着脱の自立を目指すなど、基本的な生活習慣の指導を行った。

月曜～金曜 9：00～12：00

利用児童数 延べ 829人

(2) 機能回復訓練

- ・草の実リハビリテーションセンターの巡回相談、療育モデル時に理学療法士の派遣があり、個々の状態にあわせた機能回復訓練を行った。

(3) 言語訓練

- ・言語に障がいや遅れのある児童に言語訓練を行った。

毎週月曜日 9：00～16：00 言語聴覚士

利用児童数 延べ 400人

(4) 感覚運動あそび

- ・保育士や音楽講師による小集団でのコミュニケーション訓練を行った。

月曜、水曜～金曜 8：45～9：45 235人

13：30～15：30 657人

利用児童数 延べ 892人

(5) 相談

- ・児童の発達や療育についての相談

草の実リハビリテーションセンター 巡回相談 年6回 7人

草の実リハビリテーションセンター 療育モデル 年3回 17人

サービス管理責任者（おおぞら職員）、言語聴覚士 利用人数 延べ 90人

- ・就学に向けての相談

利用人数 延べ 33人

- ・保護者向け勉強会の開催

就学までのスケジュールについて 教育委員会 46人参加

ことばについて 言語聴覚士 23人参加

発達障がいの子どもの育て方・見方 特別支援教育士 52人参加

### 3 放課後児童対策事業

#### (1)放課後児童クラブ運営委託

昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等について、放課後児童の育成指導等、遊びを主とする健全育成活動を行うため、放課後児童クラブの運営委託を実施した。

児童クラブ名	所在地	児童数(※)	開設日数
杉の子学童クラブ	久世戸町5番地 (修道小学校内)	21人	271日
すみれ学童クラブ	中島2-10-18	28	290
明照こどもクラブ	吹上2-5-41	52	292
ひまわり学童クラブ	藤里町1番地363	26	290
はまっこ学童クラブ	神社港20番地10	23	240
とよはま学童クラブ	西豊浜町1760番地	21	238
放課後学童クラブ リンドバーグ	佐八町2061番地2	22	289
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 早修学童部	宮町1-8-19	28	291
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 城田学童部	上地町1770番地	15	291
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 浜郷学童部	黒瀬町1736番地2 (黒瀬児童センター内)	8	285
学童クラブレインボーキッズ	上野町2908番地	21	291
合計		265	—

(※) 児童数は毎月初日における利用児童数の平均

#### (2)放課後児童クラブ施設整備

民設放課後児童クラブの新設に伴い、開設準備に要する備品購入費等に対する補助を行った。

児童クラブ名	金額	開設日
藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 城田学童部	円 300,000	H20. 4. 1

藍ちゃんの家ふぁみりーくらぶ 浜 郷 学 童 部	300,000	H20. 4. 8
N P O シルバースプーン	300,000	H21. 4. 1
計	900,000	—

#### 4 乳幼児健康支援一時預かり事業

病気のために学校、幼稚園、保育所にて集団保育が困難で、家庭でも保育することが出来ない児童を一時的に預かり、就業と子育て両立を支援した。

	伊勢市	玉城町	度会町	計	委託先
児 童 数	315 人	10 人	0 人	325 人	神田小児科 病児保育エンゼル
延べ日数	623 日	13 日	0 日	636 日	

#### 5 子育て支援ショートステイ事業

保護者の疾病、出産等の理由により、一時的に家庭における児童の養育が困難となった場合に、施設において当該児童の養育、保護を行うため、また経済的理由等により緊急一時的な保護を必要とする母子を保護するため、市内3施設（精華学院、天理教三重互助園、サラナ）と事業委託契約を交わし事業を実施した。

件 数	延べ利用日数	利用（稼働）日数	施 設 名	事 業 費
8 件	38 日	38 日	精華学院	287,000 円

#### 6 ファミリー・サポート・センターの運営

児童福祉の向上及び仕事と家庭の両立を支援するため、依頼会員の要望に応じて提供会員を紹介し、相互の信頼と了解の上で一時的に児童を預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営の充実を図った。

平成 21 年 3 月末現在

会 員 数				活動件数	委託先	委託金額
依頼 会員	提供 会員	両方 会員	計			
219 人	157 人	36 人	412 人	2,484 件	NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク	7,679,916 円

#### 7 児童手当の支給

一定の要件を満たす児童を養育し、かつ定められた所得未満の者に対して児童手当を支給し、児童の健全育成を図った。

区分	受給者数 (H20.4月)	支 給 の 状 況		
		支払件数	延べ対象 児 童 数	金額
被 用 者 児 童 手 当	人 1,897	件 6,212	人 25,527	円 255,230,000
非 被 用 者 児 童 手 当	554	1,681	6,786	67,670,000

特例給付 児童手当	33	134	508	5,080,000
被用者 小学校修了前 特例給付	4,404	14,179	82,996	460,745,000
非被用者 小学校修了前 特例給付	1,496	4,491	25,784	146,735,000
計	8,384	26,697	141,601	935,460,000

## 8 家庭児童相談

家庭における適切な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭児童福祉に関する種々の問題について、家庭児童相談室で相談指導等の対応を行った。

### 相談種類別受付件数

相談内容	養護相談		健康相談	障がい相談						非行相談		育成相談			その他の相談	計	
	児童虐待相談	その他の相談		肢体不自由相談	視聴覚障がい相談	言語発達障がい等相談	重症心身障がい相談	知的障がい相談	自閉症等相談	ぐ犯行為等相談	触法行為等相談	性格行動相談	不登校相談	適性相談			育児・しつけ相談
件数	29	32	0	1	0	2	0	2	2	1	0	4	4	0	0	3	80

## 9 児童虐待防止活動

児童虐待の未然防止、早期発見及び被虐待児童の迅速かつ適切な保護等を円滑に行うため、伊勢市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を設置し、会議等を開催した。

代表者会議委員 24 人 実務者会議委員 10 人

- (1) 代表者会議 2 回
- (2) 実務者会議 12 回
- (3) 個別ケース会議 66 回
- (4) 児童虐待防止広報・啓発活動

『広報いせ』6月号へネットワーク発足の記事を、11月号へ児童虐待の発見・通告を呼びかける記事（2ページ）を掲載した。

- (5) CAPプログラムの実施

CAP（子どもへの暴力防止）プログラムを市内保育所（園）・幼稚園・小学校において実施した。

実施施設 保育所（園）…2か所、幼稚園・小学校…各1か所

参加者 児童129名、保護者・保育士・教諭等145名

10 次世代育成支援地域行動計画の推進

次世代育成支援対策推進法（平成 15 年 7 月 16 日公布）の制定に伴い、平成 18 年 3 月に策定した次世代育成支援行動計画の推進を図るため、伊勢市次世代育成支援対策推進協議会を開催した。

開催日：平成 20 年 11 月 6 日、12 月 22 日、平成 21 年 3 月 25 日

委員組織：学識経験者、医療関係者、福祉関係者、教育関係者、商工関係者、労働関係者、市民・保護者関係者、行政関係者

○ 母子・寡婦福祉関係

1 児童扶養手当に係る事務

父親がいないか、又は父親と生計を同じくしていない児童の心身の健やかな成長に寄与するため支給される児童扶養手当の認定等の事務と支給業務を次のとおり行った。

3 月末資格者数	支給額
1,260 人	504,761,680 円

各種届

新規認定請求	額改定	資格喪失	氏名変更	転入	転出	住所変更	その他	計
168 件	13 件	119 件	22 件	22 件	21 件	81 件	120 件	566 件

2 自立支援教育訓練給付金

母子家庭の母の就労について、主体的な能力開発の取組みを支援し、自立の促進を図るため、市が指定する教育訓練講座を受講した母子家庭の母に対して、講座終了後に受講料の一部を支給した。

支給件数	講座受講料	支給金額
2 件	143,248 円	28,649 円

3 母子・寡婦福祉資金貸付状況

母子家庭及び寡婦に対して、資金を貸し付け、生活意欲の助長と経済的自立を図った。

区分	母子		寡婦	
	件数	金額	件数	金額
修学資金	4 件	10,098,000 円	0 件	0 円
就学支度資金	3	855,000	0	0
計	7	10,953,000	0	0

4 母子・寡婦相談状況

母子家庭及び寡婦の身上相談に応じ、その自立に必要な指導を行った。

区分	相談内容				計
	生活一般	児童	生活援護	その他	
相談件数	103 件	51 件	219 件	11 件	384 件



# 長 寿 課

## ○ 老人福祉関係

### 1 老人ホーム入所措置事業

(1) おおむね 65 歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。

施設名	年度当初 入所者数	年 度 中 の 入退所者数		年 度 末 入所者数	年間延べ 措置人員	措 置 費
		入 所 者	退 所 者			
高 田 慈 光 院	2 人	0 人	0 人	2 人	24 人	3,217,135 円
梨ノ木園(盲)	2	1	0	3	34	6,292,197
清 和 の 里	1	0	0	1	12	2,612,058
花 園 寮	1	0	0	1	12	1,773,516
高 砂 寮	32	5	5	32	381	65,828,334
万 亀 会 館	92	9	10	91	1,100	147,205,056
合 計	130	15	15	130	1,563	226,928,296

### (2) 老人ホーム入所判定状況

老人ホームへ入所の申出のあった高齢者に対して、3 回入所判定委員会を開催し、入所措置の要否の判定を受けた。

前年度末 待機者数	申請者数	判定回数	要措置判定 件 数	保留件数	却下件数	今年度 取下件数	今年度末 待機者数
28 人	28 人	3 回	27 件	1 件	0 件	17 件	23 人

### 2 老人クラブ補助金事業

地域老人クラブ及び老人クラブ連合会の活発な活動を助長するため、高齢者福祉を増進する諸事業に対して助成した。

(1) 単位老人クラブ	178 クラブ
会 員 総 数	11,935 人
1 クラブ平均会員数	67 人
助 成 金	8,509,350 円
(2) 単位老人クラブ(重点配分事業)	6 クラブ
助 成 金	454,570 円
(3) 伊勢市老人クラブ連合会	1 クラブ
助 成 金	3,382,900 円

(4) 健康づくり事業

実施クラブ	伊勢市老人クラブ連合会	
助成金	480,000円	
事業実績	体力づくり事業	214名参加（1回開催）
	グラウンドゴルフ推進事業	774名参加（5回開催）
	健康増進料理講習会	133名参加（4回開催）
	軽体操教室	215名参加（10回開催）
	カローリング教室	212名参加（2回開催）

3 老人乗合バス運賃助成事業

市内に在住する75歳以上の高齢者を対象に、三重交通の市内路線バス全線（スカイライン線除く）及び市が運行するコミュニティバス全線で利用できる寿バス乗車券（100円券×40枚の回数券）を交付することでバス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして孤立感の解消に努めるとともに、移動に伴う経済的な負担の軽減を図った。

- (1) 事業費 20,143,310円（うち扶助費 18,592,800円）
- (2) 交付者数 9,411人（交付率 56.5%）
- (3) 利用枚数 185,928枚（利用率 49.4%）

4 敬老金支給事業

市内に在住する満77歳、88歳、99歳の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老金を贈呈した。

	支給金額	人数	計
77歳	5,000円	1,449人	7,245,000円
88歳	10,000	398	3,980,000
99歳	10,000	29	290,000
計	—	1,876	11,515,000

5 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が有効と認められるにも関わらず申し立てを行う者がいない場合、市長の権限による申し立てを行うとともに、必要経費を助成することにより、成年後見制度の利用促進を図った。また、制度の周知及び啓発を図るため、講演会・シンポジウムを開催した。

(1) 申し立て実績

申し立て件数	1件
助成額	8,140円

(2) 講演会・シンポジウム（高齢者虐待防止研修会と共催）

～認知症介護と高齢者虐待の防止を学ぶ～

開催日	平成20年11月23日
場所	ハートプラザみその
事業費	50,000円

## ○ 在宅支援事業関係

### 1 生きがい活動支援通所事業

おおむね 65 歳以上の在宅の高齢者で、介護保険で「非該当」又は自立とみなされる虚弱な高齢者を対象に、デイサービスセンター等への通所により、教養講座、日常動作訓練、趣味創作活動等サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。

事業所名	利用延べ人員	利用延べ回数	金額
双寿園	27人	108回	283,200円
社会福祉協議会（伊勢支所）	433	1,587	3,272,640
伊勢まごころ	357	1,250	2,575,000
藍ちゃんの家	36	123	253,760
みなとデイサービスセンター	182	724	1,491,440
デイサービスセンターオアシス	12	100	206,000
宮川さくら苑	16	64	154,880
楽寿苑	12	52	125,840
高砂寮	24	133	321,140
社会福祉協議会（御菌支所）	24	96	215,760
	1,123	4,237	8,899,660

### 2 生活管理指導事業

おおむね 65 歳以上の高齢者で、介護保険で「非該当」又は自立とみなされる虚弱な高齢者等で、基本的な生活習慣の欠如や対人関係が成立しにくいなど社会生活を営むうえで支障のある者に対し、生活管理指導員（ホームヘルパー）の派遣や短期間の宿泊により日常生活に対する指導及び支援を行い、基本的な生活習慣が身につくように日常生活や対人関係の構築、家事等に関する指導及び支援を行い要介護状態への進行を予防した。

#### (1) 生活管理指導員派遣事業

派遣施設	ホームヘルパー派遣延べ人数	訪問延べ回数	金額
伊勢市社会福祉協議会（伊勢支所）	12人	89回	166,608円

#### (2) 生活管理指導短期宿泊事業

施設名	短期宿泊利用延べ人数	利用延べ日数	金額
高砂寮	1人	9回	30,870円

### 3 外出支援サービス事業

おおむね 65 歳以上の寝たきり及び下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、医療機関などへ受診するときの移送用車両（リフト付タクシー等）の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。

事業所名	利用回数	金額
福祉タクシー 西村（有）	155回	926,000円
三重名鉄タクシー（株）	52	208,000
野呂自動車（有）	879	3,879,000
計	1,086	5,013,000

#### 4 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、老衰・心身の障害及び傷病等の理由により寝具類等の衛生管理が困難な者に対し、寝具の洗濯、乾燥、消毒のサービスを行い、高齢者の心身のリフレッシュおよび衛生状況の向上を図った。

事業所名	利用実人員	利用延べ回数	金額
三重県クリーニング生活衛生同業組合伊勢支部	14人	16回	90,720円

#### 5 訪問理美容サービス事業

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、老衰・心身の障害及び傷病等の理由により一般の理容店や美容院に出向くことが困難な者に対し、訪問理美容サービスのうち移動にかかる費用等の助成を行い、高齢者の精神及び衛生状況の向上を図った。

事業所名	利用実人員	利用延べ回数	金額
伊勢理容組合	8人	21回	21,000円
ヘアサロン アサマ	4	37	37,000
三重県美容業生活衛生同業組合	2	2	2,000
YOU美容室	1	1	1,000
計	15	61	61,000

#### 6 軽度生活援助事業

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、日常生活上の援助が必要な者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅での自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行防止を図った。

事業所名	利用延べ人数	利用延べ回数	金額
社団法人伊勢市シルバー人材センター	271人	506回	723,320円
NPO法人 伊勢まごころ	11	32	29,520
計	282	538	752,840

#### 7 緊急通報体制等整備事業

##### (1) 福祉電話貸与

65歳以上のひとり暮らし高齢者で、低所得（生活保護受給世帯・市県民税非課税世帯等）のため、電話を設置できない人に電話を設置し、高齢者の安否確認、相談等の便宜を図った。

支 援 内 容	実 施 台 数	金 額 (円)
老人用福祉電話基本料扶助	31 台分の基本料金	709,727
老人用福祉電話設置負担金	2 台分の設置	12,915
老人用福祉電話廃止負担金	4 台分の廃止	8,400
計		731,042

## (2) 緊急通報装置貸与

65歳以上のひとり暮らしで虚弱な高齢者等に対して、緊急通報装置を設置し、急病等の緊急時に迅速かつ的確に対処できる体制を整備することで、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の安全確保に努めた。

### ア 貸与状況

貸 与 状 況				延 べ 貸 与 台 数	委 託 料
年 度 当 初	新 規	撤 去 ・ 休 止	年 度 末		
337 台	21 台	60 台	298 台	3,900 台	12,545,765 円

### イ 通報状況

(単位：件)

月	通報件数	電話対応 解 決	協 力 員 確 認 要 請	救 急 車 出 動 要 請	待 機 員 出 動
4 月	7	3	1	2	1
5 月	6	2	0	3	1
6 月	14	8	0	6	0
7 月	16	13	0	2	1
8 月	8	6	0	0	2
9 月	2	2	0	0	0
10 月	7	5	0	0	1
11 月	6	2	1	2	1
12 月	6	1	0	4	1
1 月	14	8	2	2	2
2 月	9	8	0	2	2
3 月	14	10	0	2	11
計	109	68	4	25	23

## 8 食の自立支援事業

高齢者の食の自立を目的として、65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯で、栄養改善が必要で、買い物と調理が困難な虚弱な高齢者に対し、定期的に居宅に訪問して栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認を併せて行い、日常生活の支援を行った。

事業所名	利用実人数	利用回数	金額
神路園	5人	385回	134,750円
白百合園	4	332	116,200
八百正	51	4,127	1,444,450
ハッピー食品(注1)	6	128	44,800
藍ちゃんの家	128	10,322	3,612,700
癒以膳(注2)	22	1,209	423,150
宅配クック123(注3)	3	23	8,050
計	219	16,526	5,784,100

(注1) ハッピー食品：平成20年6月をもって事業中止

(注2) 癒以膳：平成20年7月より事業開始

(注3) 宅配クック123：平成21年3月より事業開始

#### 9 高齢者世話付住宅等生活援助員派遣事業

高齢者の生活面・健康面での不安に対応する為に、高齢者向け優良賃貸住宅正邦苑竹ヶ鼻、高齢者世話付住宅市営リバーサイドせせらぎに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応などのサービスを提供することによって、高齢者が安全かつ快適な生活を営むことができるよう、自立した在宅生活を支援した。

援助内容	延べ件数
生活指導・相談	1件
安否確認	29,822
一時的家事援助	2,569
緊急時対応	77
関係機関との連携	126
その他必要な援助	11
計	32,606

#### 10 在宅介護支援事業（在宅介護支援センター活動事業）

在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行い、当該高齢者及びその家族の福祉の増進を図った。

##### (1) 実施状況

在宅介護支援センター 9箇所

在宅介護支援センター名	委託先	金額
在宅介護支援センター神路園	社会福祉法人 伊勢医心会	700,000円

在宅介護支援センター名	委託先	金額
在宅介護支援センター双寿園	社会福祉法人 邦栄会	700,000円
在宅介護支援センター白百合園	社会福祉法人 福德会	700,000
在宅介護支援センター山咲苑	医療法人社団 愛敬会	700,000
在宅介護支援センター正邦苑	社会福祉法人 慈恵会	700,000
みなと在宅介護支援センター	社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会	700,000
在宅介護支援センター楽寿苑	社会福祉法人 邦栄会	700,000
二見ふれあいプラザ	社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会	700,000
小俣在宅介護支援センター	社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会	700,000
計		6,300,000

(2) 実施内容

ア 相談業務

( ) 内実人員、単位：人

在宅介護支援センター名	延べ相談者数	延べ訪問者数
在宅介護支援センター神路園	133 ( 62)	15
在宅介護支援センター双寿園	146 ( 54)	9
在宅介護支援センター白百合園	193 ( 76)	20
在宅介護支援センター山咲苑	197 ( 72)	27
在宅介護支援センター正邦苑	86 ( 30)	10
在宅介護支援センター楽寿苑	407 ( 86)	67
みなと在宅介護支援センター	380 ( 194)	107
二見ふれあいプラザ	242 ( 76)	35
小俣在宅介護支援センター	406 ( 117)	26
計	2,190 ( 767)	316

イ 高齢者実態把握

地域の高齢者等の心身の状況及びその家族の状況等の実態を把握するとともに、介護に関するニーズの評価を行う。金額（事業費）は1件あたり 900円。

在宅介護支援センター名	実施件数	金額
在宅介護支援センター神路園	1件	900円
小俣在宅介護支援センター	1	900
在宅介護支援センター山咲苑	1	900
在宅介護支援センター正邦苑	5	4,500
計	8	7,200

11 万亀会館施設整備事業

平成 19 年 8 月伊勢市より移管を受けた社会福祉法人が行った、養護老人ホーム万亀会館の老朽化に伴う改築整備に係る経費に対して補助等を行った。

団体名	住 所	金 額
社会福祉法人 伊勢医心会	伊勢市二俣町 577 番地 9	363, 732, 235 円

○ 地域包括支援センター関係

1 介護予防ケアマネジメント事業（特定高齢者関係）

生活機能評価から選定された、特定高齢者（要支援、要介護状態になる恐れがある高齢者）に対して、保健師が、家庭訪問等を通じて介護予防事業の説明、参加の意思確認をした上で、必要な対象者に対して、ケアプランの作成を行い、介護予防の推進に努めた。

特定高齢者数	趣 旨 説 明 実施件数	ケ ア プ ラ ン 作成件数	内 訳
431 人	426 件	24 件	通所型介護予防事業参加者 20 人 訪問型介護予防事業参加者 4 人

2 総合相談事業・権利擁護事業

(1) 総合相談事業

高齢者の生活を福祉、医療、介護、保健など総合的に支えていくために、社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等が、高齢者本人や家族からの相談に対し、さまざまな制度や社会資源の説明及び支援を行った。

ア 総合相談件数 (単位：件)

区 分	実 数	延 数
件 数	519	853

イ 相談方法 (単位：件)

区 分	電 話	来 所	そ の 他	合 計
延 数	425	418	10	853

ウ 相談内容 (単位：件)

区 分	生 活	介 護	施 設	認 知	医 療	福 祉	虐 待	消 費 者	成 年	そ の 他	合 計
延 数	116	318	106	59	34	41	50	6	64	59	853

※虐待相談件数には疑い事例も含む。

(2) 権利擁護業務

高齢者の人権や財産を守るため、地域の様々な福祉・保健・医療などの関係機関と連携をとりながら、虐待の防止・早期発見に努めるとともに、悪徳商法などの消費者被害の未然防止や、契約行為の履行のための成年後見制度の活用の促進に努めた。

ア 高齢者虐待についての相談・通報対応件数等



養護者による虐待に関する相談・通報対応件数（実数）	32 件
事実確認により虐待を受けたと思われると判断した事例	21 件

イ 虐待の種類（重複） ※上記、虐待と判断した事例についての虐待の種類 （単位：件）

区 分	身 体 的	介護・世話の 放棄・放任	心 理 的	性 的	経 済 的
件 数	14	7	16	0	9

ウ 被虐待者との関係 （単位：人）

区 分	夫	妻	息子	娘	その他	計
件 数	4	2	10	3	5	24

エ 被虐待者の性別 （単位：人）

区 分	男	女	計
人 数	8	16	24

※ 1 件の事例に対し、被虐待者が複数であったため、被虐待者数は 24 人であった。

### 3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

在宅と施設・病院等の間での継続的なケアマネジメントを確立するため、困難事例をはじめ、地域のケアマネジャーが抱える日常業務における相談に対し、支援助言を行った。

#### (1) ケアマネジャーの相談

ア ケアマネジャーの相談件数

区 分	実 数	延 数
件 数	62 件	177 件

#### (2) ケアマネジャーの支援

- ・ 支援困難事例ケア会議（延数） 13 回
- ・ 地域包括ケア検討会 9 回

（在宅介護支援センター及び居宅介護支援事業所ケアマネジャー対象）

## ○ 地域包括支援センター運営事業

### 1 地域包括支援センター運営事業

保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図るため、地域包括支援センターの増設を行った。

#### (1) 業務委託内容

- ア．総合相談・支援事業
- イ．権利擁護事業
- ウ．包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
- エ．介護予防ケアマネジメント事業

(2) 委託先および業務委託料（委託期間：平成 20 年度～平成 22 年度）

委 託 先	業 務 委 託 料	う ち 支 出 済 額
伊勢市西地域包括支援センター (社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会)	17,300,000 円	5,300,000 円 (H20. 5月) 4,000,000 円 (H20. 7月) 4,000,000 円 (H20.10月) 4,000,000 円 (H21. 1月)

(平成 21～22 年度債務負担行為)

## ○ 介護予防サービス計画作成事業

### 1 介護予防ケアマネジメント事業（予防給付関係）

介護認定審査会で要支援 1・要支援 2 と認定された要支援者に対して、適切な介護予防マネジメントを行い、介護状態の悪化を予防し、自立した生活がおくれるよう支援を行った。

- ・ 家庭訪問によるアセスメント及びケアプランの作成
- ・ 介護予防サービス事業者との担当者会議の開催
- ・ 定期的なモニタリングや評価の実施

#### (1) 要支援認定者

	要 支 援 1	要 支 援 2	計
要 支 援 者	412 人	611 人	1,023 人
割 合	40%	60%	100%

(平成 21 年 3 月末現在)

#### (2) 要支援認定者のうち介護予防サービス利用者のケアプラン作成件数（認定別）

	要 支 援 1	要 支 援 2	計
直 営	86 件	139 件	225 件
委 託	42	94	136
計	128	233	361

(平成 21 年 3 月末現在)

※ ケアプラン作成委託事業所 41 事業所

(うち、平成 21 年 3 月末時点ケアプラン作成事業所 30 事業所)

#### (3) ケアプラン請求件数および作成料（月別）

作成料はケアプラン 1 件あたり 4,000 円

新規については 1 件あたり 2,500 円加算（請求件数の内件数）

	請求件数合計			うち委託分請求件数		
	請求件数(件)	新規件数(件)	作成料(円)	請求件数(件)	新規件数(件)	作成料(円)
3月	460	26	1,905,000	186	9	766,500
4月	367	7	1,485,500	129	3	523,500
5月	346	9	1,406,500	127	4	518,000
6月	331	13	1,356,500	127	2	513,000

	請求件数合計			うち委託分請求件数		
	請求件数(件)	新規件数(件)	作成料(円)	請求件数(件)	新規件数(件)	作成料(円)
7月	319	14	1,311,000	125	6	515,000
8月	311	7	1,261,500	122	3	495,500
9月	330	18	1,365,000	116	2	469,000
10月	330	15	1,357,500	121	8	504,000
11月	326	11	1,331,500	121	5	496,500
12月	336	13	1,376,500	124	4	506,000
1月	345	17	1,422,500	128	6	527,000
2月	357	17	1,470,500	140	11	587,500
計	4,158	167	17,049,500	1,566	63	6,421,500

※ 平成20年3月～平成21年2月

(現物給付分は3月から翌年2月分までのサービス提供に係る保険給付をひとつの会計年度として取り扱うこと等による。)

# 障 がい 福 祉 課

## 1 障害者地域生活支援事業

### (1) 障害者地域生活相談支援事業

高柳商店街に設置されている障害者相談支援センターの運営を社会福祉法人へ委託し、訪問、来所、電話等により相談を受け付け、福祉サービスに関する情報提供、ケースマネジメント等を行った。

- ア 委託先                    社会福祉法人 三重済美学院
- イ 委託金額                12,721,300 円
- ウ 委託期間                平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日

### (2) 日常生活用具給付事業

(単位：円)

種 目	対 象 者	区 分	件 数	金 額
特 殊 寝 台	下肢・体幹 2 級以上	給 付	3	415,800
特 殊 マ ッ ト	下肢・体幹 1 級以上又は知的 A2 以上	給 付	7	123,640
入 浴 補 助 用 具	下肢・体幹機能障がい	給 付	4	232,398
便 器	下肢・体幹 2 級以上	給 付	2	10,260
T 字 杖、棒 状 の 杖	平衡、下肢、体幹機能障がい	給 付	2	5,700
移 動・移 乗 支 援 用 具	平衡、下肢、体幹機能障がい	給 付	3	141,450
頭 部 保 護 帽	平衡、下肢、体幹、知的、精神	給 付	7	84,816
火 災 警 報 器	身体障がい 2 級以上又は知的 A2 以上	給 付	1	7,522
電 磁 調 理 器	視覚 2 級以上又は知的 A2 以上	給 付	3	74,700
聴 覚 障 が い 者 用 屋 内 信 号 装 置	聴覚 2 級	給 付	2	87,012
透 析 液 加 温 器	腎臓機能障がい 3 級以上で自己連続携行式腹膜灌流法 (CAPD) による透析療法を行う者	給 付	3	137,700
ネブライザー(吸入器)	呼吸器 3 級以上 又は同程度の身体障がい児(者)	給 付	5	162,000
電 気 式 た ん 吸 引 器	呼吸器 3 級以上 又は同程度の身体障がい児(者)	給 付	14	638,433

盲人用音声式体温計	視覚2級以上	給付	1	8,100
盲人用体重計	視覚2級以上	給付	1	16,200
携帯用会話補助装置	音声・言語機能障がい児(者) 又は肢体不自由者	給付	2	177,840
点字器	視覚2級以上	給付	1	7,020
視覚障がい者用 ポータブルレコーダー	視覚2級以上	給付	4	193,770
視覚障がい者用 拡大読書器	視覚障がい児(者)であって、 本装置により文字等を読むこと が可能になる者	給付	1	178,200
盲人用時計	視覚2級以上	給付	3	32,865
F A X	聴覚障がい又は発声・発語に著 しい障がいのある者	給付	2	51,840
人工喉頭(電動式)	喉頭摘出した音声機能障がい児 (者)	給付	1	63,090
点字図書	情報の入手を点字によっている 視覚障がい児(者)	給付	2	7,200
視覚障害者用ICタグ レコーダー	視覚2級以上	給付	6	313,200
ストマ用装具	ストマ造設者	給付	1,401	10,941,618
紙おむつ	高度の排便、排尿機能障がい のある全身性障がい児(者)等	給付	379	3,938,191
居宅生活動作補助用具	下肢・体幹 又は運動機能障がい3級以上	給付	7	1,031,986
合計	—	—	1,867	19,082,551

### (3) 地域活動支援センター事業

社会福祉法人等、指定事業所への通所による創作的活動・生産活動の機会を提供し、障がいのある人の社会との交流の促進を図った。

実利用人数 110人 給付費 3,789,949円

### (4) 日中一時支援事業

障がいのある人の家族の就労支援や一時的な休息を図るため、障害福祉サービス事業所等において、障がいのある人に日中における活動の場を提供し、見守り、社会に適應するための日常的な訓練等、適切な支援を行った。

実利用人数 41人 給付費 3,827,434円

(5) 移動支援事業

屋外での移動が困難な人に、外出のための移動に対する付き添いなどの支援を行った。

実利用人数 53人 給付費 6,492,788円

(6) 身体障害者情報保障事業

○手話通訳設置事業

手話通訳者を窓口を設置する事により、コミュニケーションがスムーズになり、聴覚障がいのある方の社会参加の促進を図った。

窓口対応件数(4月～3月) 162件

設置人数 常勤1名(午前8時30分～午後5時15分・月曜日は午後7時まで)

非常勤1名(午前9時30分～午後1時30分)

決算額 4,349,925円

○手話通訳者・要約筆記者派遣事業

意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣する事により、聴覚障がいのある方の社会参加の向上を図った。

主な派遣内容 会議・講演会・医療・学校手話講座・教養講座・職場面接・式典

学校等懇談会・学校等保護者会・福祉団体行事・年金等手続き・イベント

手話通訳者派遣件数 53件 登録通訳者数 14名

要約筆記者派遣件数 33件 登録通訳者数 31名

決算額 437,550円

○手話通訳者養成事業

手話通訳のできる人を増加することにより、手話通訳者派遣事業の充実を図った。

手話通訳者養成講座応用課程(5月～12月) 4名受講

決算額 230,775円

○手話奉仕員養成事業

手話のできる人を増加することにより、手話通訳者の増員及び手話通訳者派遣事業の充実を図った。(奉仕員：コミュニケーションがとれるもの)

手話奉仕員養成講座基礎課程(5月14日～12月17日) 20名受講

決算額 121,500円

○点字広報・声の広報発行事業

広報を点字及び朗読することにより、視覚障がい者の情報保障の充実を図った。

点字広報発行事業 150,000円 声の広報発行事業 200,000円

○要約筆記奉仕員養成事業

要約筆記通訳のできる人を増加することにより、要約筆記者派遣事業の充実を図った。

要約筆記奉仕員養成講座パソコンコース(9月7日～2月22日) 9名受講

決算額 835,110円

### (7) 障がい児サマースクール事業

障がいのある児童の夏期休暇中における日中活動の場を提供し、介護者の負担軽減を図るため、障がい児サマースクールを実施（全7回開催）

ア 開催日	平成20年8月1日（金）	身体障がい児受入日
	平成20年8月6日（水）	知的障がい児受入日
	平成20年8月8日（金）	身体障がい児受入日
	平成20年8月13日（水）	知的障がい児受入日
	平成20年8月20日（水）	知的障がい児受入日
	平成20年8月22日（金）	身体障がい児受入日
	平成20年8月27日（水）	知的障がい児受入日
イ 開催時間	午前10時～午後3時	
ウ 開催場所	二見老人福祉センター	
エ 参加児童	延べ92名（平均1回あたり13人）	

### (8) 障がい者体育祭開催事業

障がいのある人の社会参加等を図るため、障がい者体育祭実行委員会に事務局として参加し、開催を支援した。

ア 日 時	平成20年6月21日（土）
イ 場 所	県営サンアリーナ
ウ 参加人数	350人（障がい者・家族243人、ボランティア等107人）
エ 負担金	450,000円

### (9) ふれあい交流事業

陶芸教室を実施することにより、障がいのある方とそうでない方の交流を深め、相互の理解を深めた。

①日 時	平成20年7月24日（木）	午前10時30分～12時30分
②場 所	二見老人福祉センター 1階 集会室	
③参加人数	112人	
④決算額	300,000円	

## 2 障害者外出支援事業

### (1) 重度障害者タクシー料金助成

重度の障がいのある人の自立更生、社会参加等を促すため、障がいのある人が利用したタクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。

ア 対 象 者	身体障害者手帳（下肢・体幹・視覚障がい1級～2級、内部障がい1級） 又は療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級～3級の交付を受けている人
---------	---

イ 交付枚数等	1人につき600円券年間36枚を限度とし、乗車1回につき1枚使用
ウ 乗車券交付者	449人
エ 助成額	4,813,200円

(2) 重度身体障害者リフト付タクシー料金助成事業

車椅子等でしか移動できない重度の障がいのある人が利用したリフト付タクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。

ア 対象者	身体障害者手帳（下肢・体幹機能障がい1～3級）の交付を受けている人のうち、外出時に車いす又は移動寝台を必要とする人
イ 交付枚数等	1人につき1,000円券年間72枚を限度とし、乗車1回につき6枚まで使用
ウ 乗車券交付者	36人
エ 助成額	593,000円

(3) 言語機能回復訓練等通園旅費助成事業

心身に障がいのある人は、早期発見及び早期治療が必要であるので、その障がいを治療するために県立あすなろ学園及び草の実学園等に通園する児童に対し、その健全育成を図るため、通園旅費を助成した。

ア 支給人員	3人
イ 助成額	54,400円
ウ 支給基準	通園先が県内にある場合は旅費の全額を、県外にある場合は旅費の半額を助成し、1人につき月額15,000円を上限とする。

3 身体障害者生活環境等整備事業

(1) 障害者住宅改造補助金

重度の心身障がい者が安心して日常生活を過ごせるように、在宅生活を支えるための住宅改造に要した費用について補助を行った。

ア 補助件数	3件
イ 補助金額	785,000円

4 障害者福祉運営対策経費

(1) 身体障害者デイサービス事業

在宅生活をしている方で体に障がいのある人が社会適応訓練や創作活動等を行う、デイサービス事業の運営を委託した。

ア 身体障害者福祉センターデイサービス運営事業（パソコン教室等）	
委託先	伊勢市社会福祉協議会
委託料	14,267,000円



実利用人数 65 人（4 月～3 月）

利用回数 1,227 回（4 月～3 月）

イ 重度身体障害者デイサービス運営事業（くじら）

委託先 伊勢市社会福祉協議会

委託料 53,877,000 円

実利用人数 21 人（4～3 月）

利用回数 2,531 回 給食 2,468 回 入浴 326 回（いずれも 4～3 月）

（2）身体障害者福祉センター運営委託事業

身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を委託した。

委託先 伊勢市社会福祉協議会

委託料 4,752,000 円

（3）自立更生事業補助金

市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。

ア 助成団体 11 団体

イ 補助金額 1,623,000 円

5 障害者保健福祉計画策定事業

「伊勢市障害者保健福祉計画」を策定するにあたり、ヒアリング調査、パブリックコメントを実施し、成果品を作成した。

ア 委託先 株式会社 ジャパンインターナショナル総合研究所

イ 委託金額 2,625,000 円

ウ 委託期間 平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日

6 障害者啓発事業

（1）障害者週間啓発事業

12 月 3 日～9 日にわたる「障害者週間」の意義を広く市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するため、街頭啓発と作品展示を実施した。

ア 街頭啓発

①日 時 平成 20 年 11 月 29 日（土）

午前 10 時～正午頃

②場 所 ジャスコ伊勢店、イオンララパークショッピングセンター、伊勢みその  
ショッピングセンター、ユーストア上地店、ベリー小俣店、プライス  
カット伊勢二見店

③配布物品数 1,000 個

イ 作品展示

- ①日 時 平成 20 年 11 月 25 日（火）～28 日（金）正午
- ②場 所 伊勢郵便局
- ③展示内容 伊勢市中心臓疾患心友会による絵手紙の展示

ウ 事業費 129,123 円

7 障害者手当等給付事業

(1) 特別障害者手当等給付事業

在宅の重度障がい者（児）に対し、その重度障がいによって生じる負担軽減を図るため、特別障害者手当等を支給した。

手 当 名	手 当 月 額	年 度 末 人 員	支 延 べ 人 員	支 給 金 額
特 別 障 害 者 手 当	円 26,440	人 142	人 1,573	円 41,590,120
障 害 児 福 祉 手 当	14,380	56	696	10,008,480
福 祉 手 当	14,380	14	156	2,243,280
計	—	212	2,425	53,841,880

(支給対象者)

特別障害者手当 … 精神又は身体に重度の重複障がいをもつため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある、在宅の 20 歳以上の人

障害児福祉手当 … 精神又は身体に重度の障がいをもつため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある、在宅の 20 歳未満の人

福 祉 手 当 … 20 歳以上で旧制度による福祉手当を受給していた人のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ障害年金も支給されない人

(2) 福祉給付金の支給

市民税非課税世帯に属する在宅の人のうち下記のいずれかの条件に該当する人に、福祉の増進を図るため、福祉給付金を支給した。(ただし、介護用品支給事業の利用者及び重度心身障害者紙おむつ等支給事業の利用者を除く。)

1. 1 級の身体障害者手帳の交付を受けている人
2. 「A」の療育手帳の交付を受けている人
3. 1 級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人

区 分	対 象 者 数	支 給 単 価	支 給 金 額
前期支給（6 月）	人 125	円 12,000	円 1,500,000

後期支給（12月）	127	12,000	1,524,000
計	延べ252	—	3,024,000

## 8 障害者自立支援対策臨時特例交付金特別対策事業

### （1）通所サービス利用促進事業

障がいのある人が新体系の日中活動サービス事業所及び旧体系の通所施設が行う送迎サービスを利用する場合、利用者1人につき片道540円、1事業所あたり年間300万円を上限額とし、その送迎に要する費用を助成した。

ア 対象者数	180人
イ 実施事業所数	16箇所
ウ 助成額	18,308,865円

## 9 障害者通所等支援事業

障がいのある人が通所等により訓練等を行う場合、低所得世帯に対し通所等に要する費用を助成した。

ア 基準額	通所 日額180円（平成20年4月～6月） 日額80円【月額上限1,500円】（平成20年7月～平成21年3月） 入所 （利用料＋食費－食費実費相当分）÷2
イ 対象者延人数	3,142人
ウ 助成額	4,127,565円

## 10 障害者小規模作業所対策事業

### （1）小規模作業所運営事業委託料・小規模作業所運営事業費補助金

在宅の障がいのある人の社会的自立と社会参加を促進するため、小規模作業所の運営を委託又は補助を行い、福祉の増進を図った。

施設名	設 年 月 日	設 置 主 体	運 営 主 体	通 所 人 員	主 な 作 業 内 容	委 託 料 又 は 補 助 金
ひまわり 授産所	S55.11.1	伊勢市	(社)伊勢市社 会福祉協議会	人 12	自主製品製造 下請け加工	円 10,876,000
工房そみん	H12.4.1	伊勢市	(社)伊勢市社 会福祉協議会	7.9	自主製品製造 古紙回収	13,351,000
さくら園	H元.4.1	伊勢市	(社)伊勢市社 会福祉協議会	14.3	自主製品製造 下請け加工	17,044,000
しらぎく園	H7.4.1	伊勢市	(社)伊勢市社 会福祉協議会	6.1	自主製品製造 下請け加工	6,154,000

ステップワン	H 2. 4. 22	NPO法人 ステップワン	NPO法人 ステップワン	6. 3	自主製品製造	4, 407, 000
杉の木園	H 2. 7. 9	(社)まほろば の里	(社)まほろば の里	6. 5	自主製品製造 下請け加工	4, 407, 000
Step by Step	H17. 2. 1	NPO法人 マイトリ	NPO法人 マイトリ	12	自主製品製造 下請け加工	5, 760, 000

※通所人員は、月平均実績人数

(2) 小規模作業所施設整備事業費補助金

在宅の障がいのある人の社会参加を促進するため、小規模作業所の施設整備を行う者に対し補助金を交付し、地域社会における社会適応や作業訓練等の場の確保を図った。

ア 施設名 ステップワン

イ 補助金額 13, 670, 000 円

(3) 小規模作業所入所負担金

市外の小規模作業所へ通所する障がいのある人について、その入所経費を、設置する市町へ負担することにより福祉の増進を図った。

施設名	設置主体	運営主体	通所人員	負担金
末芳園 (玉城町)	末芳園 運営委員会	末芳園 運営委員会	4人	914, 200円
夢工房たまき (玉城町)	玉城町	(社)玉城町 社会福祉協議会	1	284, 300
松阪工作所 (松阪市)	(社)フレンド	(社)フレンド	3	181, 944

(4) 精神障害者授産施設等通所利用扶助金の支給

精神障害者小規模作業所等に通所する精神に障がいのある人に対して通所旅費を助成することにより、社会参加の促進と生活意欲の向上を図った。

	前期 (4月～9月)	後期 (10月～3月)	延べ合計
対象者数	18人	18人	36人
助成額	448, 940円	438, 920円	887, 860円

通所事業所 Step by Step (伊勢市)、松阪工作所 (松阪市)

11 障害者介護給付等事業

障がい福祉サービスの利用について給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。

(1) 障害者介護給付・訓練等給付等事業 (3～2月)

事業名	実利用 人 数	支援費額	サービス内容
居宅介護（ホームヘルプサービス）	人 90	円 41,757,793	居宅において介護、家事等生活全般にわたる援助を行う
短期入所（ショートステイ）	73	17,920,367	介護を行う人の疾病その他の理由により、施設に短期間入所し、適切な支援を行う
生活介護	86	148,201,170	常に介護が必要な人に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動等の機会を提供する
児童デイサービス	105	20,555,730	通所により日常生活動作や集団生活への適応等に関する指導及び訓練を行う
療養介護	7	20,861,944	医療が必要で常に介護が必要な人に、医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護等を行う
共同生活介護（ケアホーム）	34	23,453,163	共同生活場所で入浴や排せつ、食事の介護を行う
施設入所支援	42	37,880,635	施設に入所している人に、入浴や排せつ、食事の介護を行う
自立訓練（機能訓練）	4	1,842,518	自立した日常生活や社会生活ができるよう身体機能向上のために必要な訓練を行う
自立訓練（生活訓練）	10	6,320,491	自立した日常生活や社会生活ができるよう生活能力向上のために必要な訓練を行う
就労移行支援	16	18,607,090	就労を希望する人に、一定の期間における生産活動やその他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行う
就労継続支援（A型）	1	1,176,999	雇用契約に基づき、就労の機会や生産活動等の提供を行う
就労継続支援（B型）	81	45,295,543	事業所で働くことが困難な人に、就労の機会や生産活動等の提供を行う
共同生活援助（グループホーム）	12	4,041,268	地域で共同生活を営む人に、日常生活上の援助を行う
旧身体障害者療護施設	27	55,979,210	常時介護を必要とする障がいのある人が対象で、治療及び養護を行う

旧身体障害者授産施設	2	1,327,616	自立と社会経済活動への参加に向け、必要な訓練及び職業の提供を行う
旧知的障害者更生施設	103	230,166,870	入所及び通所により日常生活における自立と社会参加のための訓練を行う
旧知的障害者授産施設	96	104,855,996	自立と社会経済活動への参加に向け、生産活動の機会の提供、必要な助言・指導を行う
旧知的障害者通勤寮	2	1,298,340	入所することにより、就労している障がい者の独立・自活に必要な援助・指導を行う

## 12 障害程度区分認定審査会対策事業

### (1) 障害程度区分認定審査会の状況

障害者自立支援法及び伊勢市障害者介護給付費等の支給に関する審査会条例に基づき、伊勢市介護給付費等の支給に関する審査会を設置し、障害程度区分認定等に係る審査業務を行った。

- ア 委員数 10人（2合議体、1合議体5人で構成）
- イ 委員構成 内科医師2人、精神科医師2人、医療ソーシャルワーカー2人  
障害者相談支援員2人、障害者施設職員2人
- ウ 開催回数 18回
- エ 判定件数

非該当 (件)	区分1 (件)	区分2 (件)	区分3 (件)	区分4 (件)	区分5 (件)	区分6 (件)	計 (件)
0	1	20	32	26	21	27	127

### (2) 障害程度区分認定調査の状況

障害者自立支援法に基づき、障害福祉サービス利用申請者の訪問調査を実施した。

- ア 調査件数 187件（含、訓練等給付のみを利用する人 60件）
- イ 調査員数 専門調査員（市嘱託職員）1人（専門調査員の外、職員も実施。）

## 13 補装具費支給事業

日常生活や社会生活の向上を図るため、補装具費の支給を次のとおり実施した。

### (1) 身体障害者補装具費の支給（購入及び修理）

種	目	区	分	件	数	金	額
義	肢	購	入		件		円
				3		2,594,878	
		修	理		7		613,907

装 具	購 入	21	1,076,075
	修 理	5	73,508
座 位 保 持 装 置	購 入	3	317,833
	修 理	3	130,613
盲 人 安 全 つ え	購 入	6	23,392
眼 鏡	購 入	2	33,372
補 聴 器	購 入	65	3,532,110
	修 理	34	605,162
車 い す	購 入	18	2,702,290
	修 理	21	433,621
電 動 車 い す	購 入	1	463,414
	修 理	10	506,249
歩 行 器	購 入	2	53,172
	修 理	1	4,500
歩 行 補 助 つ え	購 入	3	18,592
計	—	205	13,182,688

(2) 身体障害児補装具費の支給（購入及び修理）

種 目	区 分	件 数	金 額
装 具	購 入	12	765,799
	修 理	2	28,634
座 位 保 持 装 置	購 入	6	1,605,316
	修 理	3	323,037
補 聴 器	購 入	3	215,263
	修 理	13	146,007
車 い す	購 入	11	1,945,636
	修 理	6	496,699
起 立 保 持 具	購 入	4	827,186
計	—	60	6,353,577

14 身体障害者医療給付事業

身体に障がいのある人の障がいの除去又は軽減を図るため、更生医療費（人工関節置換術・人工透析等、その他適用を受けることができる治療、投薬等の治療にかかる医療費）を次のとおり給付した。

医療費の給付	
診療延べ件数	実人員
387 件	32 人

事業費 42,039,632 円

15 自立支援医療（精神通院）の受付

在宅で精神に障がいのある人の通院医療を促進し、地域での生活を支援するため、通院医療費公費負担に関する申請及び届出を受け付けた。

平成 21 年 3 月末受給者証交付件数	1,014 件
----------------------	---------

○ 身体障害者手帳の交付

身体障がい者の自立更生の援助と生活の安定を図るため、次のとおり身体障害者手帳を交付した。

(1) 新規交付数等異動状況

区分		4 月 1 日 手帳交付数	新交	規付	転入	転死 変	出亡 更	3 月 末 手帳交付数
障がい	児	61 件		4 件	1 件		△6 件	60 件
	者	3,353		189	17		△138	3,421
肢体障がい者	児	2		0	1		△1	2
	者	458		17	2		△21	456
視覚障がい者	児	17		1	0		0	18
	者	849		39	1		△30	859
聴覚障がい者	児	2		0	0		0	2
	者	83		11	0		△6	88
言語障がい者	児	21		2	0		△1	22
	者	1,489		164	7		△91	1,569
内部障がい者	児	103		7	2		△8	104
	者	6,232		420	27		△286	6,393
計								



(2) 等級別交付状況（平成 21 年 3 月末現在）

障がい		区 分		1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
肢体障がい者	児	件	件	件	件	件	件	件	件	件
	者	27	21	8	0	3	1	60		
視覚障がい者	児	620	757	656	796	399	193	3,421		
	者	1	0	1	0	0	0	2		
聴覚障がい者	児	157	114	50	39	46	50	456		
	者	0	7	3	3	0	5	18		
言語障がい者	児	61	190	115	145	5	343	859		
	者	0	1	0	1	—	—	2		
内部障がい者	児	1	3	43	41	—	—	88		
	者	15	0	6	1	—	—	22		
合 計	児	885	20	331	333	—	—	1,569		
	者	43	29	18	5	3	6	104		
		1,724	1,084	1,195	1,354	450	586	6,393		

○ 療育手帳の交付

知的障がいのある人に対して一貫した指導・相談及び援護措置を行うため、療育手帳を交付した。

障がい		区 分		年度当初 手帳交付数	新交 規付	転 入	転 死 変	出 亡 更	3 月 末 手帳交付数
A (重 度)	児	件	件	件	件	件	件	件	件
	者	67	1	0	△3	65			
B (中軽度)	児	312	2	1	8	323			
	者	92	17	0	△11	98			
計	児	278	10	0	1	289			
	者	159	18	0	△14	163			
		590	12	1	9	612			

## ○ 精神障害者保健福祉手帳の交付

精神に障がいのある人に対して社会復帰・社会参加の促進を図るため、保健福祉手帳の申請及び交付事務を行った。

20年度 等級	平成20年4月当初 手帳交付数	平成21年3月末 手帳交付数	増	減
1級	33 件	46 件		13 件
2級	235	277		42
3級	114	121		7
計	382	444		62